女川原子力発電所	第2号機 工事計画審査資料
資料番号	02-補-E-01-0210-1_改7
提出年月日	2021年11月5日

## 補足-210-1【発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料】

2021年11月

東北電力株式会社

## 補足説明資料目次

- 1. 基本事項に係るもの
  - 1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統
  - 1-2 火災区域の配置を明示した図面
  - 1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について
- 2. 火災の発生防止に係るもの
  - 2-1 潤滑油及び燃料油の引火点,室内温度及び機器運転時の温度について
  - 2-2 保温材の使用状況について
  - 2-3 建屋内装材の使用状況について
  - 2-4 難燃ケーブルの使用について
  - 2-5 水素の蓄積防止対策について
- 3. 火災の感知及び消火に係るもの
  - 3-1 ガス消火設備について
  - 3-2 消火用の照明器具の配置図
  - 3-3 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの構造図
  - 3-4 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプのQHカーブ
  - 3-5 屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの内燃機関の発電用火力設備に関する技術基準を 定める省令への適合性について
  - 3-6 消火栓及びガス消火設備の必要容量について
  - 3-7 可燃物管理により火災荷重を低く管理することで、煙の発生を抑える火災区域又は火災 区画についての管理基準
  - 3-8 新燃料貯蔵庫の未臨界性評価について
  - 3-9 火災感知器の種類及び配置を明示した図面
  - 3-10 重大事故等対処施設及び設計基準事故対処設備の消火設備の位置的分散に応じた独立性 を備えた設計について
  - 3-11 火災感知設備の電源確保について
  - 3-12 トーラス室の換気風量について

- 4. 火災の影響軽減に係るもの
  - 4-1 火災の影響軽減のための系統分離対策について
  - 4-2 ケーブルトレイに適用する1時間耐火隔壁の火災耐久試験の条件について
  - 4-3 中央制御室制御盤内の分離について
  - 4-4 中央制御室の火災の影響軽減対策について
  - 4-5 火災区画特性表について
  - 4-6 火災を起因とした「運転時の異常な過渡変化」及び「設計基準事故」発生時の単一故障 を考慮した原子炉停止について
  - 4-7 中央制御室制御盤の火災を想定した場合の対応について
  - 4-8 原子炉格納容器内火災時の想定事象と対応について
  - 4-9 影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について
- 5. 火災防護計画に係るもの
  - 5-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画に定め管理する事項について

:今回提出資料

補足説明資料 3-9

火災感知器の種類及び配置を明示した図面

1. 目的

本資料は、VI-1-1-7発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示す火 災感知器の種類及び配置を示すために、補足資料として添付するものである。

## 2. 内容

火災感知器の選定においては,設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を,VI-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示すとおり,消防法に準じて選定する設計とする。また,火災感知器の取付方法,火災感知器の設置個数の考え方等の技術的な部分については,消防法施行規則第 23 条第 4 項等に基づき設置する設計とする。

火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防法施行規則等に則り設 置する設計とする。

また、火災感知器の設置にあたっては、消防設備士によって確認を行う。

なお、施工にあたっては、消防法施行規則に則り設置する。

また,消防法認定品でない火災感知器を採用する場合,消防法(火災報知設備の感知器 及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号))に 定められる火災感知器の感知性能を有していることを確認している。

以下 3.項においては、火災感知器のうち、基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感 知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器についての種類、仕様及び感知原理等を 示す。

以下 4.項においては,各火災感知器の具体的な設置条件及び消防法に準じて火災感知器 を設置した具合例を示す。

以下 5. 項においては、火災感知器の配置図を示す。

- 3. 基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災 感知器について
  - (1) 防爆型火災感知器 蓄電池室及び燃料タンクに設置する防爆型火災感知器は、煙感知器と熱感知器であり、 これらの感知器の防爆性能について以下に示す。
    - a. 防爆型煙感知器の概要

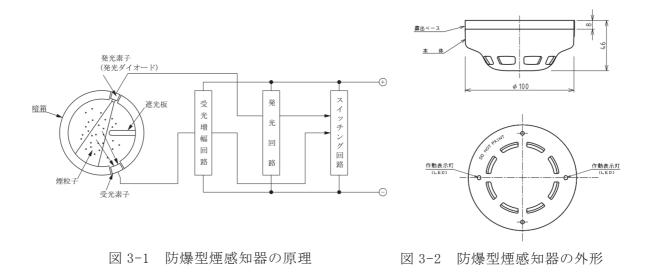
防爆型煙感知器の原理を図 3-1,外形を図 3-2 に示す。

動作原理は、感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受 光素子に光が当ることで煙を感知し、受信機へ火災信号を出力する。

防爆型煙感知器は,可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生 じた場合に,当該感知器が爆発圧力に耐え,かつ,爆発による火災が当該火災感知器 の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから,防爆性能(耐圧防爆 構造\*)を有する。

b. 消防法の認定について

防爆型煙感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条 (光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能 を満足している。



c. 防爆型熱感知器の概要

防爆型熱感知器の原理を図 3-3,外形を図 3-4 に示す。

動作原理は,感熱素子サーミスタを用いて熱を検出し,周囲温度が一定値以上にな ったときに受信機に火災信号を発する。サーミスタは温度変化により抵抗値が変化す る素子で,一定周期で電流を流してサーミスタの両端にかかる電圧を測定し,温度検 出回路にて変換した電圧値を内部制御回路に送り,制御回路にて一定時間内での温度 上昇値を測定し,温度上昇率が設定値を超えた場合に火災と判断し,受信機に火災信 号を発する。

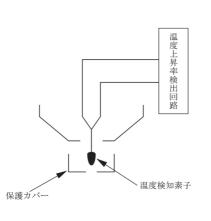
防爆型熱感知器は,可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生 じた場合に,当該感知器が爆発圧力に耐え,かつ,爆発による火災が当該火災感知器 の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから,防爆性能(耐圧防爆 構造\*)を有する。

d. 消防法の認定について

防爆型熱感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信 器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第14条 (定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足して いる。

注記\*:耐圧防爆構造(「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16条)

全閉構造であって,可燃性ガス(以下「ガス」という。)又は引火性の蒸気 (以下「蒸気」という。)が容器内部に侵入し爆発を生じた場合に,当該容器 が爆発圧力に耐え,かつ,爆発による火災が当該容器の外部のガス又は蒸気に 点火しないようにしたものをいう。



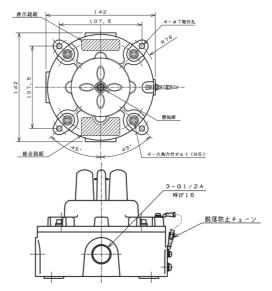


図 3-3 防爆型熱感知器の原理

図 3-4 防爆型熱感知器の外形

e. 地下軽油タンク室に設置する防爆型感知器について

防爆型感知器の設置箇所のうち非常用ディーゼル発電設備軽油タンク,高圧炉心ス プレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは地下 埋設構造となっていることから,火災感知器の環境条件のうち,結露に対する設計上 の考慮について以下に示す。なお,地下埋設構造及び火災感知器の環境条件は同様で あることから,地下軽油タンク室を代表に説明する。

地下軽油タンク室に設置する防爆型煙感知器の外形を図 3-5,防爆型熱感知器の外 形を図 3-4 に示す。また,地下軽油タンク室の構造(断面)を図 3-6 に示す。

地下軽油タンク室は出入口としてマンホールが設けられているが,それ以外に外気 と接する箇所はなく,このマンホールは水密性を有していることから,通常は外気か ら遮断されており,急激な温度変化は生じない構造となっている。また,軽油タンク 本体は地下軽油タンク室内に設置され,タンク室内天井部に設置した火災感知器によ って火災を感知する設計とする。

防爆型煙感知器については煙の流入を感知する感知部と防爆容器で覆われた内部基 盤で構成されており、この内部基盤において結露が発生した場合に誤作動する可能性 がある。しかし、周囲温度の急激な変化が生じないことから、防爆容器で密閉された 感知器内部と周囲温度で急激な温度差が生じることはほぼなく、防爆容器内が結露す る可能性は低い。

また,防爆型熱感知器はサーミスタを利用した方式の感知器であり,温度上昇を感 知する感知部とその温度上昇によって電流が流れる内部回路で構成される。

防爆型熱感知器では感知部以外は露出しておらず,内部回路において結露が生じた 場合,誤作動する可能性があるが,周囲温度の急激な温度変化が生じないことから, 感知器内部と周辺温度で急激な温度差が生じることはほぼなく,内部回路が結露する 可能性は低い。

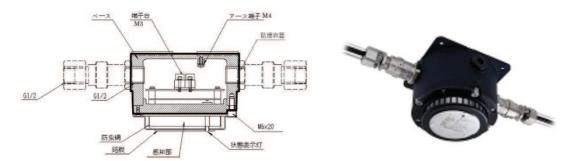


図 3-5 防爆型煙感知器(地下軽油タンク室)の外形

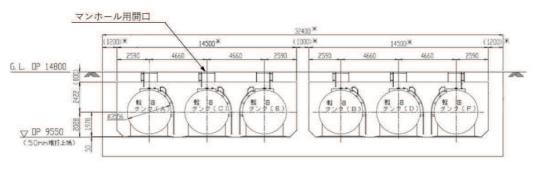


図 3-6 地下軽油タンク室(断面)

防爆型煙感知器の取付方法を図 3-7,防爆型熱感知器の取付方法を図 3-8 に示す。 万が一,地下軽油タンク室内で結露が発生した場合においても,各感知器は直接天井 部等と接することなく設置されており,感知器の構造を考慮すると天井部等からの水 滴が防爆容器等で仕切られた内部まで浸入する可能性は低い。

よってそれぞれの感知器は結露を考慮しても地下軽油タンク室における運用に問題 ないといえる。

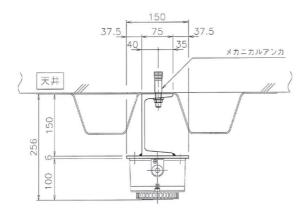


図 3-7 防爆型煙感知器の取付方法

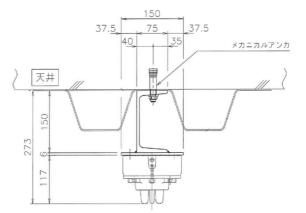


図 3-8 防爆型熱感知器の取付方法

なお,防爆型火災感知器は消防法施行規則に準じ,外観点検及び自動試験機能又は煙 等の火災を模擬した機能試験を実施できる設計とする。

- (2) 防湿型煙感知器
  - a. 防湿型煙感知器の概要

防湿型煙感知器の原理を図 3-9,外形を図 3-10 に示す。

動作原理は、感知器に煙が取り込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受 光素子に光が当ることで火災を感知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知器 の取付用ボックス内にヒーターを内蔵したことにより、非火災の発報の原因となる結 露の発生する場所にも有効な構造となっている。

b. 消防法の認定について

防湿型煙感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条 (光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能 を満足している。

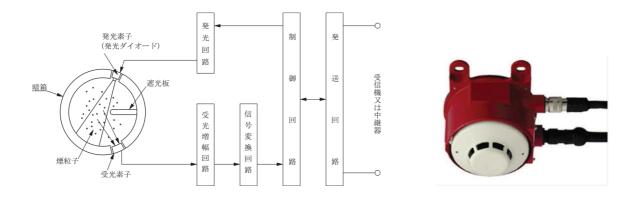


図 3-9 防湿型煙感知器の原理

図 3-10 防湿型煙感知器の外形

- (3) 防水型熱感知器
  - a. 防水型熱感知器の概要

防水型熱感知器の原理を図 3-11,外形を図 3-12 に示す。

動作原理は,温度検知素子を用いて熱を検出し,周囲の温度が一定の範囲内の温度 になったときに受信機へ火災信号を出力する。また,防水構造となっており,結露の 発生する場所にも有効な仕様となっている。

b. 消防法の認定について

防水型熱感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第14条 (定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

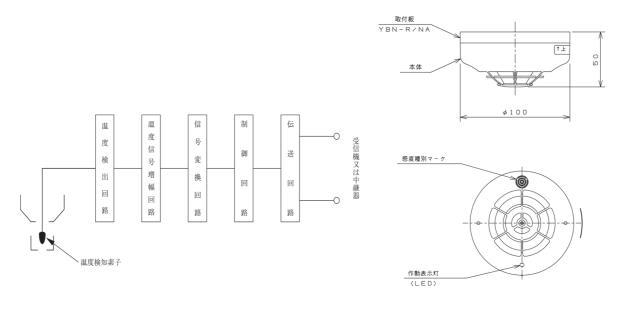


図 3-11 防水型熱感知器の原理

図 3-12 防水型熱感知器の外形

- (4) 熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)
  - a. 熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の概要
     熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の原理を図 3-13,外形を図
     3-14 に示す。

動作原理は,膨張係数の大きい金属の外筒と膨張係数の小さいストラットを組合せ, その膨張係数の差によって接点を閉じて火災を感知し,受信機へ火災信号を出力する。 また,炎が生じ,温度上昇した場合にも火災として感知し,受信機へ火災信号を出力 する。

b. 消防法の認定について

熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)は,消防法認定品であり, 消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 14 条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感 度))に定められる感知性能を満足している。

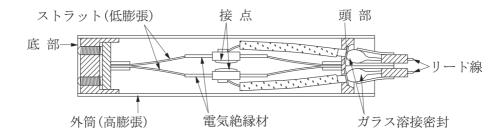


図 3-13 熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の原理

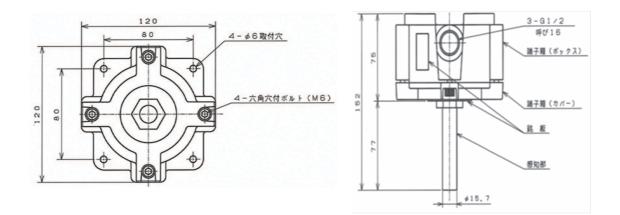


図 3-14 熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の外形

- (5) 炎感知器
  - a. 炎感知器の概要

炎感知器の原理を図 3-15,外形を図 3-16 に示す。 動作原理は,偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつき を検知し,受信機へ火災信号を出力する。また,感知原理に「赤外線3波長式」(物 質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する) が採用されており誤作動を防止できる。

b. 消防法の認定について

炎感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係 る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の8(炎 感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角))に定められる感知性能を満足して いる。

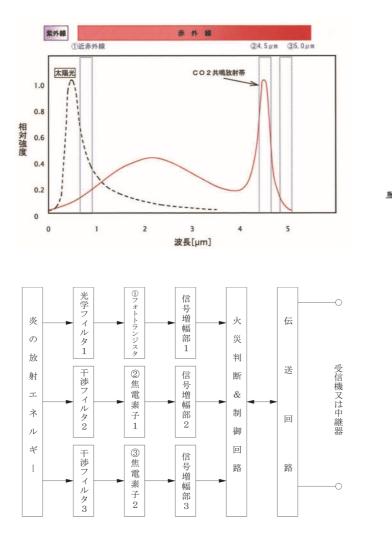


図 3-15 炎感知器の原理

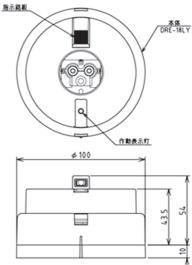


図 3-16 炎感知器の外形

- (6) 屋外仕様炎感知器
  - a. 屋外仕様炎感知器の概要

屋外仕様炎感知器の概要を図 3-17 に示す。

動作原理は、偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつき を検知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知原理に「赤外線 3 波長式」(物 質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を 3 つ検知した場合にのみ発報する) が採用されており誤作動を防止できる。

また,平常時より炎の波長の有無を連続監視し,火災現象(急激な環境変化)を把握 できることから,アナログ式と同等の機能を有する。

b. 消防法の認定について

炎感知器は,消防法認定品ではないが,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器 に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の 8(炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角)に定められる炎感知器の感度及 び視野角の感知性能が同等以上を有していることを確認している。



図 3-17 屋外仕様炎感知器の概要

- (7) 熱感知カメラ
  - a. 熱感知カメラの概要
     熱感知カメラの概要を図 3-18 に示す。
     動作原理は、赤外線によって対象箇所が発する熱エネルギーを連続的にとらえ温度
     を監視し、設定温度を超えると受信機へ火災信号を出力する。
  - b. 消防法の認定について

熱感知カメラは,消防法認定の感知器ではないが,赤外線感知機能により死角となる場所がないように適切に設置する。



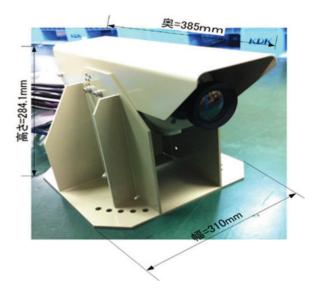


図 3-18 熱感知カメラの概要

- 4. 各火災感知器の設置条件及び具体例
- 4.1 各火災感知器の設置条件
- 4.1.1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

各火災感知器の設置条件を表 4-1-1 に示す。

表 4-1-1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

		火災感知器の設置個数の考え方				
火災感知器の種類		取付面高さ	設置個数 当たりの 床面積	消防法 施行規則		
			1 種及び	4m 未満	$150 \mathrm{m}^2$	
煙	光電アナログ式スポット型 (防湿型含む)	2種	4m以上 20m 未満	$75 \mathrm{m}^2$		
感		3種	4m 未満	$50 \text{m}^2$	第 23 条 第 4 項	
知		1 種及び	4m 未満	$150 \mathrm{m}^2$	第 4 項 第 7 号	
器	光電式スポット型 (防爆型含む)	2種	4m以上 20m 未満	$75 \text{m}^2$		
		3種	4m 未満	$50  \mathrm{m}^2$		
	熱アナログ式スポット型		4m 未満	$70 { m m}^2 { m *}$		
	(防水型含む)		4m 以上 8m 未満	$35m^{2}*$		
熱		特殊	4m 未満	$70 { m m}^2 { m *}$		
感		村外	4m 以上 8m 未満	$35m^{2}*$	第 23 条 第 4 項	
知	定温式スポット型	1種	4m 未満	$60m^{2}*$	第 4 項 第 3 号	
器	(防爆型含む)	⊥↑里	4m 以上 8m 未満	$30 m^2 *$		
		2種	4m 未満	$20m^{2}*$		
		乙一作里	4m 以上 8m 未満	_		
炎感	赤外線3波長式	公式監視 距離最大 40m 以内	床面から 1.2m の監視空間		第23条 第4項 第7の4 号	
知 器	赤外線3波長式 (屋外仕様)	最大 60m 以内 (試験に て確認)			消防法に 適用され ない	
熱感知カメラ	赤外線式	最大 60m 以内 (試験に て確認)			消防法に 適用され ない	

注:上記に記載のない事項については,消防法施行規則等に基づく,火災感知器の設置方 法に従う。

注記\*:主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分における設置個数当たりの 床面積を示す。 4.1.2 煙感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.6m以 上突出している場合は個別の区画とし,それぞれの床面積から煙感知器の必要個数を 求める。(図4-1-2-1参照)

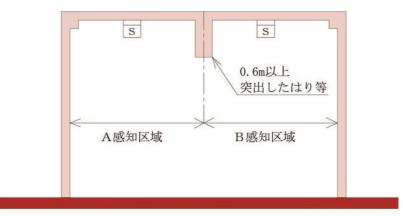


図 4-1-2-1 はり等が天井より 0.6m 以上突出している場合の区域の解説図

消防法施行規則第23条第4項第7号ホの規定により,天井高さから,それぞれの床 面積に必要な煙感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。(表 4-1-2-1 参照)

感知器の種別	取付面の高さ	4m 未満	4m以上15m未満	15m以上 20m 未満
	1種	$150  { m m}^2$	$75 \mathrm{m}^2$	$75 \mathrm{m}^2$
煙感知器	2種	$150 \mathrm{m}^2$	$75 \text{m}^2$	—
	3種	$50 \mathrm{m}^2$		

表 4-1-2-1 天井高さから必要な煙感知器の設置個数を算出する場合の床面積

消防法施行規則第23条第4項第7号への規定により、煙感知器を廊下及び通路に設ける場合は、歩行距離30mにつき1個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離15mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により,はり等の深さが 0.6m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合,下記図及び表で定める範囲の隣接す る感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-2-2,表 4-1-2-2 参照)

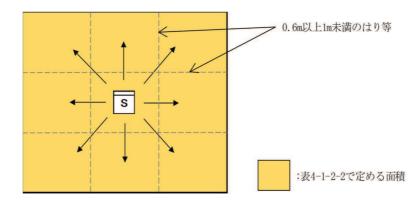


図 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

取付け面の高さ	感知面積の合計			
感知器の種別	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満
1種	$60 \text{m}^2$	$60 \text{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$
2種	$60 \text{m}^2$	$60 \text{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	
3種	$20 \text{m}^2$			

表 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが 0.6m以上 1m 未満で区画された 10m<sup>2</sup>以下の小区画が 1つ 隣接している場合は、当該部分を含めて 1 つの感知区域とすることができる。(図 4-1-2-3 参照)

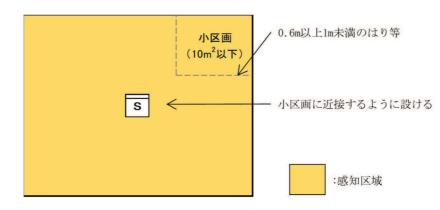


図 4-1-2-3 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.1.3 熱感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.4m以 上突出している場合は個別の区画とし,それぞれの床面積から熱感知器の必要個数を 求める。(図4-1-3-1参照)

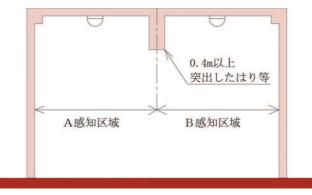


図 4-1-3-1 はり等が天井より 0.4m 以上突出している場合の区画の解説図

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,天井高さから,それぞれの床 面積に必要な熱感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。(表 4-1-3-1 参照)

<ul><li>取付面の高さ</li><li>建築物の構造</li></ul>		4m 未満		4m 以上 8m 未満	
<sup>米税</sup> 感知器の種別	の構造	耐火	非耐火	耐火	非耐火
差動式スポット型	1種	$90 \text{m}^2$	$50 \text{m}^2$	$45 \mathrm{m}^2$	$30 \text{m}^2$
補償式スポット型	2種	$70 \text{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	$35 \mathrm{m}^2$	$25 \text{m}^2$
	特種	$70 \text{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	$35 \mathrm{m}^2$	$25 \text{m}^2$
定温式スポット型	1種	$60 \text{m}^2$	$30 \text{m}^2$	$30 \text{m}^2$	$15 \mathrm{m}^2$
	2種	$20 \text{m}^2$	$15 \mathrm{m}^2$	—	—
熱アナログ式スポッ	,ト型	$70 \text{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	$35 \text{m}^2$	$25 \text{m}^2$

表 4-1-3-1 天井高さから必要な熱感知器の設置個数を算出する場合の床面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により,定温式スポット型熱 感知器(特殊)は,短辺が3m未満の細長い居室等に熱感知器を設置する場合は,歩行 距離が13mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。 日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により,はり等の深さが 0.4m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合,下記図及び表で定める範囲の隣接す る感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-3-2,表 4-1-3-2 参照)

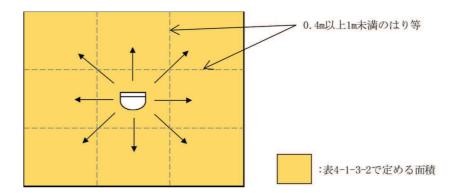


図 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

感知区域		合計面積	
感知器の種別	物の構造	耐火	非耐火
差動式スポット型	1種	$20 \text{m}^2$	$15 \mathrm{m}^2$
補償式スポット型	2種	$15 \mathrm{m}^2$	$10{ m m}^2$
定温式スポット型	特種	$15 \mathrm{m}^2$	$10{ m m}^2$
圧価式ヘホット空	1種	$13 \mathrm{m}^2$	$8 \text{m}^2$
熱アナログ式スポッ	· ト型	$15 \mathrm{m}^2$	$10 \text{m}^2$

表 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが0.4m以上1m未満で区画された10m<sup>2</sup>以下の小区画が1つ 隣接している場合は、当該部分を含めて1 つの感知区域とすることができる。(図4-1-3-3 参照)

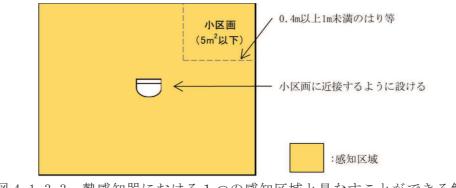
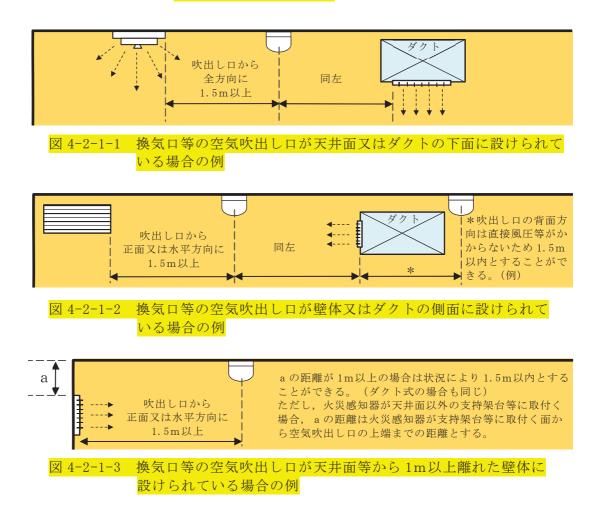


図 4-1-3-3 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

- 4.2 火災感知器を設置した具体例
- 4.2.1 消防法施行規則等に基づき感知器を設置した具体例

消防法施行規則等に基づき,建屋等に設置する熱感知器,煙感知器及び炎感知器に ついて,各建屋等の火災区域毎に整理した一覧表と配置図を別紙1に示す。

なお,消防法施行規則第23条第4項第8号の規定により,火災感知器は換気口等の空気吹出し口から1.5m以上の離隔距離を満足する設計とする。換気口等の空気吹出し口からの離隔距離については,公益財団法人東京防災救急協会 予防事務審査・検査基準により確保する。(図4-2-1-1,図4-2-1-2,図4-2-1-3参照)ただし,吹出し方向が固定されている場合で,感知器に直接風圧等がかからない場合はこの限りではないものとする。(図4-2-1-2 \*参照)



4.2.2 その他エリアの火災感知器を設置した具体例

その他エリアとして,屋外に設置する屋外仕様炎感知器と熱感知カメラ,復水貯蔵 タンク/連絡トレンチ/バルブ室に設置する熱感知器と煙感知器について,配置図を 別紙2に示す。 5. 各火災感知器の配置図

各火災感知器の配置図を以下に示す。

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その1)
東北電力株式会社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面(その2)
東北電力株式会社

Г	注:寸法はmi	<u>た</u> テオ
	女川原子力発行	電所 2号機
	名 水災感知器の 称 図面(その 3	の配置を明示した 3)
	東北電力	株式会社

Г	 注 : 寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機 名 火災感知器の配置を明示した
	称     図面(その4)       東     北     電     力     株     式     会     社

	注 : 寸法はmを示す。
名	女川原子力発電所 2号機 火災感知器の配置を明示した
称	図面 (その5) 1 北 電 カ 株 式 会 社

]	注:寸法はmを示す。
	女川原子力発電所         2 号機           名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その6)

-	
	注 : 寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2 号機
	名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その7)
	東北電力株式会社

Γ	注:寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機           名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その8)
	東北電力株式会社

]	注 : 寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2 号機
	名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その9)
	│ │ │ 東 北 電 力 株 式 会 社

Γ	注 : 寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機         名       火災感知器の配置を明示した         称       図面 (その10)
	称     図面(その10)       東     北     電     力     株     式     会     社

]	注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
	女川原子万発電所         2号機           名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その11)
	│ │ │ 東 北 電 力 株 式 会 社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号	
名     火災感知器の配置を明       称     図面(その12)       東     北<     電     力     株     式	

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面(その13) 東北電力株式会社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機 名 火災感知器の配置を明示した
本     図面(その14)       東北電力株式会社

]	注 : 寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2 号機
	名 火災感知器の配置を明示した 称 図面(その15)
	東北電力株式会社

]	注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
	文川原子万光電所         2号磁           名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その16)
	│ │ │ 東 北 電 力 株 式 会 社

٦	注 : 寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2 号機
	女川原子刀発電所         2 亏機           名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その17)
	東北電力株式会社

Г	<u>注 : 寸法はmを示す。</u>
	称     図面(その18)       東     北     電     力     株     式     会     社

Г	注 : 寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機 名 火災感知器の配置を明示した
	称     図面(その19)       東     北     電     力     株     式     会     社

Г	注:寸法はmを示す。	
	女川原子力発電所 2号機	 t_
	名 火災感知器の配置を明示し 称 図面 (その20) 東 北 電 カ 株 式 会	

Г		寸法はmを 5.ス L 20目		
	女川馬       名     火災       称     図面	原子力発電 感知器の (その2	配置を明	
	東北	電力	株式	会社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面(その22)
東北電力株式会社

٦	注:寸法はmを示す。	]
	女川原子力発電所 2号機       名     火災感知器の配置を明示した       称     図面 (その23)	 t_
	東北電力株式会	社

ן	注 : 寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機       名     火災感知器の配置を明示した       称     図面(その24)
	称 図面 (その24) 東 北 電 カ 株 式 会 社

Г	注:寸法はmを示す。	
	女川原子力発電所 2号	
	名 火災感知器の配置を明え 称 図面 (その25) 東 北 電 カ 株 式	

Г	注 : 寸法はmを示す。	]
	女川原子力発電所 2号機       名     火災感知器の配置を明示し       称     図面(その26)	t <u>-</u>
	 ↓ 東 北 電 力 株 式 会	

]	注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
	名         火災感知器の配置を明示した           称         図面(その27-1)
	│ ↓ │ 東 北 電 力 株 式 会 社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面(その27-2)
東北電力株式会社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その27-3)
東 北 電 力 株 式 会 社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その27-4)
東北電力株式会社

注:寸法はmを示す。
注:う法はmを示う。       女川原子力発電所 2号機       名     火災感知器の配置を明示した       称     図面(その28)
東北電力株式会社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その29)
東北電力株式会社

Г	 注 : 寸法はmを示す。
	女川原子力発電所 2号機 名 火災感知器の配置を明示した
	称 図面 (その30) 東 北 電 カ 株 式 会 社

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機 名 火災感知器の配置を明示した
名     火災感知器の配置を明示した       称     図面(その31)       東     北     電力株式会社

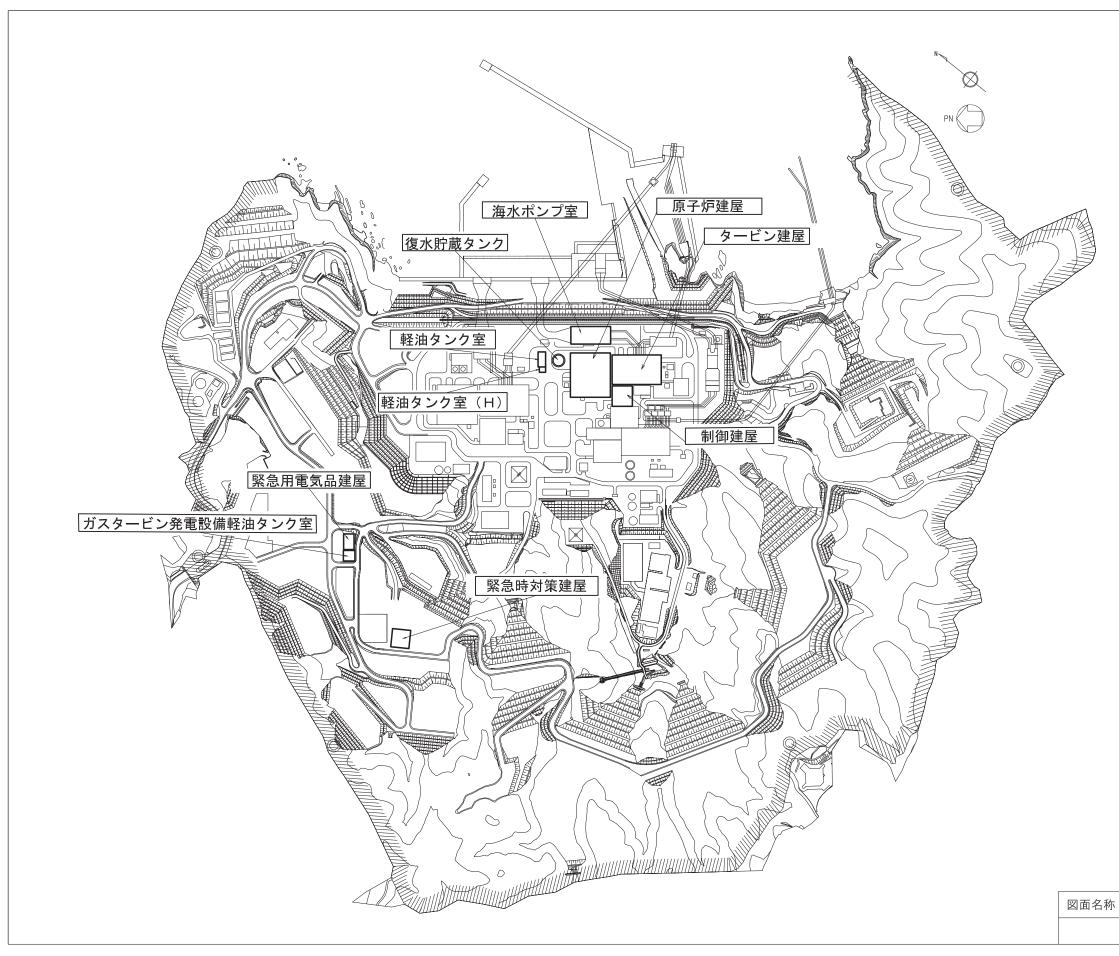
注 : 寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2 号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その32)
東北電力株式会社

Г	注 : 寸法はmを示す。	
	女川原子力発電所 2号機	
	名     火災感知器の配置を明示       称     図面(その33)       東     北     電     力     株     式     会	

注:寸法はmを示す。 女川原子力発電所 2号機
名 火災感知器の配置を明示した 称 図面 (その34)
東北電力株式会社

## 別紙1

消防法施行規則第23条第4項に従い設置された 火災感知器の設置状況について 原子炉建屋,タービン建屋,制御建屋,緊急用電気品建屋,緊急時対策建屋及び地下タン ク室に設置する火災感知器について,建屋等毎に火災感知器の配置を示した一覧表と火災感 知器の配置図について以下に示す。なお,建屋毎に代表1箇所の断面図を示す。また,各建 屋などの配置を全体配置図に示す。



火災感知器を設置する建屋等の全体配置図	

								煙感	知 器	i F													熱感	知 器							炎感知器	······
							消	防法	施行	規則												消【	方 法 施	16 行 規	則						消防法施行規則	備  考
		壁又個 ◇第221 感感に、 (マーク) (マー) (マーク) (マー) ( ( ( )) ( ( )) ( ) ( )	副数 名案は、本部の 3条は、本部の 3 本 3 本 3 本 3 本 3 本 3 本 3 本 3 本 3 本 3	ら0.6m 以知 た 通 で し 通 に つ は こ に の は に の は に の が に た 、 た な ち る 、 常 た い ち る 、 常 た い ち る 、 常 た い ち る 、 に 、 ち る 、 に 、 ち る 、 に 、 ち る 、 に 、 ち る 、 、 ち る 、 、 告 の し こ 、 合 で し ら の 、 こ 、 合 で し ら の 、 に つ ら 、 合 で し ら の 、 こ 、 合 で し ら の 、 、 合 で し こ の の 、 の の の し こ の の し こ の の し こ の の し こ の の し こ の の こ 、 合 の し し し し し し し う の 、 、 合 で し し し し の の の の の の の の の の の の の	するよう設け なび傾斜る たろの 取したうに設ける 有 150m 75m のないものに 知少 火満 でり 床面 和 のない もの で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	+る。 各を除く感知 す す ま、はり高さ ロ設備工事 た火災区域が まさが0. 6r	って区画さ ロ区域ごとに	れた部分ごと	ミに、感知器 種別及び取 高さに応じけ	器の種別及 な付け面の) た範囲の隣	高さに応し	じて次の ジ 知区域を	長で定める :当該部分 <sup>:</sup>	床面積につ	つき1個以 つの感知	上の個	<ul> <li>壁 Q 山</li> <li>登 1 個付</li> <li>4 m と</li> <li>5 小惑 日 毎 短</li> <li>0 ● 日 細短</li> </ul>	以直高 した した した した した した した した した した	NGO. 4m以 を、 火災 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	有効感知す 床面積 35㎡( のないもの! 自動火災報発 m未満で火 、はり等の認 る。 自動火災報発	るよう設ける (特種) 特種) な、はり高さ 記設備工事: 災区域が連 案さがO.4n 記設備工事: .式スポット3	って区画され 55。 「1m以上と <sup>っ</sup> 「 転換書 続する場合 n以上1m未 基準書 型感知器(特	ntc部分ごと する。 、隣接する風 :満で区画さ :殊)を設ける	<u>8</u> 	部分を含め )小区画が1	15㎡以F つ隣接し	9であれば↑ ている場合	l つの感知 は、当該音	器区域と	見なす	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感が記載と番号 いる同じ部が記載を番号 いる同じ部が記載を番号 いる設定部を記載 来した いる設定部を記載 を 取 に設 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	
	١	\ລ.			あっては歩行 〒規則につい			国以上の個数 を設置する	を、階段及	なび傾斜路(	にあっては	は垂直距り	誰15mにつ	つき1個以.	上の個数	を設け																
4/ 55	じ 回 じょうしょう ひょうしょう しょうしょう しょう		- 10 +2 07 0 0	高		0+120	1	手の高さ			纵王珪	纵工建							宣	さ		はり等	の喜さ		似于建							
下 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	部屋番号	感知, 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)		(0.6m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	小区画 総面 面積 <35			消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
		<u> </u>	—	_	0	_	0	0	1453.4		-		42	_	42	42	1	—	-	0	_	0	0	1453.4 145		- 1	106	—		106	_	
		2 ① 3 ①	_	0	_			0	75 75	75	+=	-	3		3	3	1		0	_		_	0	75 7			4		4	4		大ばり3区画 大ばり3区画
		3 () 4 (1)		0	_			0	61	61	+ =		3		3	3	1		0			_	0	61 6			4		4	4		大は93区画 大ばり3区画
		5 ①	—	0	_	_	—	Ő	61	61	—	—	3	—	3	3	Ũ	—	Ő	—	—	—	0	61 6		—	3	_	3	3		大ばり3区画
		6 1	_	0	-	—	0	0	107	172		—	2	—	2	4	1	—	0	—	_	0	0	107 17	2 –	-	6	—	6	10		中ばり6区画
	_	° 2 1		0	-		0	0	65	=	-	-	2	_	2		(2)	_	0		_	0	0	65			4	_	4			中ばり4区画 中ばり4区画
		7 2		0	_		0	0	65 239	304	<u> </u>		2		25	7	$\bigcirc$		0			0	0	65 239 30	4	+=	4		4 14	18		中は946回 中ばり14区画
		8 ①	_	Õ	_	_	<u> </u>	Õ	97	97	- 1		2	_	2	2	(Ť)	_	ŏ	—	_	<u> </u>	Õ	97 9	_	-	4	_	4	4		大ばり2区画
		9 <u>(</u> )	—	0	-	_	—	0	77	77	—	—	2	_	2	2	1	_	0	—	—	—	0	77 7		—	4	_	4	4	—	大ばり2区画
		1	—	0	-	—	-	0	38			—	1	—	1		1	—	0	—	-	-	0	38		—	2	—	2			
	1	10 2	_	0	-	_		0	93	172		-	2	_	2	5	2	—	0	—	_	-	0	93 17		-	4	_	4	8		
	-	3 11 1)		0	_		<u> </u>	0	41 19	10	+=	-	2	_	2	1	(1)	_	0			_	0	41 19 1		+ -	2		2	1		大ばり2区画
	H			0	_		=	0	54	19			1		1		1		0		_	_	0	54		-	2	_	1 2			
	1	14 ②	-	0	_	_	- 1	0	59	113	-	_	2	_	2	3	2	_	0	_	-	-	0	59 11	3 —	-	2	_	2	4		大ばり2区画
		1	—	_	-	0	—	—	6.2		—	—	—	—	-		1	—	—	—	0	—	_	6.2		1 —	- 1	—			1	煙感知器はR-2-3①と兼用
	1	15 ②	0	_	-	—	—	0	307.8	366.4		—	14	—	14	15	2	0	—	—	-	-	0	307.8 36	.4 —	—	10	—	10	10	_	
	L	3	_	-	0	_	0	-	52.4		-		1	_	1		3	_	_	0	-	0	-	52.4		-	-	—	—		2	
		16 ① 17 ①	0						25.6 13.7	25.6 13.7		-	1		1	1	1	0						25.6 25 13.7 13	_	+=	1		1	1		
		19 ①	0	_	_		_	_	27	27	-		1		1	1		0	_	_	_	_	_	27 2		-	1	_	1	1	_	
		20 ①	0	_	_	_	—	—	27	27	-		1	_	1	1	1	0	—	—	—	—	—	27 2	_	-	1	_	1	1		
		21 ①	0	—	—	—	—	—	19	19	—	—	1	—	1	1	1	0	—	—	—	—	—		) —	—	1	—	1	1	—	
B3F		22 ①	Ű	-	-	-	-	-	30	30	-		2	-	2	2	1	0	—	—	—	_	_	30 3		-	2	_	2	2		
		23 ① 24 ①	0		_				24 24	24 24	+ -		1			1		0	_			_		24 2 24 2		+=-	1		1	1		
		25 ①	0	_	-	_	- 1	-	11.3	11.3	-		1	-	1	1	1	0	_	-	-	-	_	11.3 11			1	_	1	1	_	
1 1	2	26 ①	Ő	—	-	—	—	—	42	42	—		1	—	1	1	<u> </u>	Õ	—	—	—	—	—			-	1	_	1	1	—	
		27 ①	0	_	-	—	—	—	20	20	—		1	—	1	1	1	0	—		_	—	_	20 2			1	—	1	1	_	
		28 ①	0	_	-	_	-	-	20	20	-		1	_	1	1	<u> </u>	0	—	—	-	_	-				1	_	1		_	
1 1	2	29 ① ①	0		_		=	_	20 28	1	+=		1		1	1	1	0						20 2 28		1 -	1		1	1		
	3	31 ( <u>)</u> 2	_	_	0	_	0	_	16	44	-		1	_	1	2	2	_	_	0	_	0	_	16 4	- 1	-	_	_		1	2	
		32 ①	0	_	_	—	_	—	28	28	—	—	1	—	1	1	<u> </u>	0	—	_	_	_	—	28 2	- 1	—	1	—	1	1	_	
1 1		33 ①	0	-	-	-		—	28	28	-		1	_	1	1	ĕ	0	—	—	_	—	—	28 2	_	-	1	—	1	1	-	
		34 ① 35 ①	0		_		<u> </u>		26	26			1		1	1	1	0	_		_	_	_			-	1		1	1		
		35 () 37 (1)	0		_				15 18.4	15 18.4	+		1	_	1	1	ĕ	0							4 —		1		1	1		
1 1		38 ①		_	_	_	—	—	47				1	_	1		<u> </u>	0	—	—	—	—	—		· —		1	_	1			
		1	—	0	-	_	—	0	48		—		1	_	1		1	_	0	—	—	—	0	48			3	_	3			
	3	39 2	_	0	-	-	0	-	97	459			2	-	2	11	2	-	0	-	_	0	_	97 45	9 -	-	4	—	4	25		
		3 (4)	_	0	_		<u> </u>	0	249 65	4	-		6 2		6		3 4		0	_		_	0	249 65		_	14 4		14 4			中ばり14区画 中ばり4区画
		4) 10 ①		0	_		<u> </u>	0	65 71	71	+ = -		2		2	2	( <u>4</u> ) (1)	_	0				0	65 71 7	_	-	4		4	3		中は94区画 大ばり2区画
1 1		41 ①	_	0	_			_	50	50			1		1	1	1	_	0	_	_	_	_	50 5		-	2	_	2			
		42 ①	—	0	_	_	—	—	22.1		—		1	-	1	1	ĕ	_	Õ	—	—	-	—	22.1 22	_	-	1	_	- 1		_	
	4	43 ①	—	0	-	_	—	—	22	22	—		1	—	1	1	<u> </u>	—	0	—	—	—	—		. —		1	_	1	1	—	
	4	14 ①	<u> </u>	0	-	-	-	-	25	50	<u> </u>		-	-	-	1	1	_	0	-	_	-	—	25 5	,		_	—	_	2		煙感知器、熱感知器はR-1-44②と兼用
<u> </u>		2	0	—	-	_		—	25	1	-	—	1	_	1		2	0	—	—	—	—	-	25 0		-	2	_	2		—	

消	防法に	準拠し	した火災	感知器6	の配置を	示した-	一覧表(	(対象:消	防法施	行規則	第23条	第4項に	該当す	5火災	彭知暑	冔)【厉	〔子炉建	屋													
Ν								煙感	知器	ł												熱感	知 器							炎感知器	備考
$  \rangle$							消	防法	施行	規則											消	方法 旅	16 行 敖	則						消防法施行規則	
		 上の ◇第	D個数を、火 第23条第41	iから0.6ml 災に有効感知 項 七 ホ	印するよう設	ける。										壁又 き1個 取付 4m <sup>5</sup>	以上の個数 面高さ 未満	から0.4mb 女を、火災に	有効感知す 床面積 70㎡	るよう設ける (特種)		れた部分ごと	こ、感知器	の種別及	なび取付面	iの高さに応じ	て次の表で冠	こめる床面	「積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感知器に設	
		数を 取 4r 4r	そ、火災を有 (付面高さ m未満 m以上~20	下、通路、階。 効に感知する Om未満 Oはり高さにC	らように設け 床面 150m 75m	る。 積 ㎡ 1			が 単別 及 ひり	又1117 田 03	高さに心し (	火の衣 ご正(	りる床面値に	. フラ 1 値 火	よこの値	* 複 ◆日本 はり <sup>3</sup>	<b>火災報知</b>	まり高さに〇 機工業会 目	35㎡( のないもの) 自動火災報9 m未満で火3	よ、はり高さ の設備工事	基準書		感知区域を	亥当部分	を含め15	m <sup>°</sup> 以内であれ	ば1つの感知	口器区域と	:見なす	置数が記載されて いる同じ部屋番号 に設置数が記載さ れている煙感知器 又は熱感知器が, 炎感知器と組合せ	
		は 見な 取	り等の深さ すことがで 付面高さ		-1m未満で 床面積	火災区域か 責		易合、取付面	高さに応じ	た範囲の隊	¥接する感知	区域を当該部	『分を含めて	1つの感知	区域と	の感知 ◆日本	ロ区域とする ト火災報知	ることができ 機工業会 E				、満で区画さ	わた5m以	下の小区	【画が1つ	隣接している <sup>:</sup>	易合は、当該	部分を含め	めて1つ	について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ	
		小		n木冲 もしている場合 「ることができ			m以上1m	未満で区画さ	きれた10m	『以下の小[	区画が1つ隣	接している場	合は、当該	部分を含め	て1つ	短辺		の細長い居	客等に定温 行規則につい				る場合は、お	行距離	13mにつ	き1個以上設	ける。			り、その場合の組 合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。	
	,			頁 七 へ (j 下及び通路に				固以上の個数	<b>牧を、階段</b> 及	なび傾斜路	にあっては垂	直距離15m	につき1個以	」上の個数	を設け																
火的	災区画		己に記載のな	い消防法施 高	行規則につ さ	いても準拠	1	を設置する。 毎の高さ		[	総面積 総	面積		1				高	t		はり等	の高さ			総面積総	面積 ""叶		1			
階	部屋番	感知 号 	印 或 (~4m)	) (4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	) (0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) (1			<sup>董</sup> 設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 		総面積 <35㎡	(1+1) (	iu根 1+n) 15m 15m		設置数	合 計	合計	
B3F		45 ① 46 ①			0		0		23 9.2	23 9.2		- 1		1	1	1	-		0	-	0		23 9.2	23 9.2		 = 1		1	1	4	
		47 ①	) —	—	—	—	—	—	11	11		- 4	—	4	4	1	_	—	—	—	-	—	11	11	-	- 7	—	7	7	-	
		48 ① 49 ①	/						16 11.7	16		- 4	+ =	4	4	1	_	-	-				16 11.7	16 11.7		<u> </u>		7	7	-	
		51 ①		—	-	—	—	-	12	12		- 4	-	4	4	1	—	—	—	—	_	—	12	12		- 8	—	8	8	-	
階段		52 ① 53 ①				0	+ = -		11.2 11.2	11.2 11.2		- <u>3</u>	+ =	3	3	1				0			11.2 11.2	11.2 11.2		- 5 - 3	+ =	5	5		
		54 ①	) —		—	—	—	—	11.5	11.5		- 6	—	6	6	Ű	-	—	—	—	-	—	11.5	11.5	-	— 9	—	9	9	-	
		61 ① 62 ①							4.7	4.7		<u> </u>	+ =	4	4		_		-				4.7 4.7	4.7 4.7	-+	<u> </u>		6	-	-	
		63 <u>(</u> )	) —	—	0	-	0	-	34	34		- 1	—	1	1	Ĩ	—	—	0	—	0	—	34	34	-		—	_	<i>–</i>	4	
		64 ① 65 ①			0		0		34 34	34 34		- 1		1	1	1		-	0		0		34 34	34 34		= =		-	=	4	
B3F		66 ①			0	_	0		23	23		- 1		1	1	1	_	_	0	_	0	_	23	23				-	-	4	
БЭГ		67 ①			0	-	0	-	22	22		- 1	-	1	1	1	-	_	0	—	0	—	22	22	-		-	-	—	4	
		68 ① 69 ①		0			+ =		18.2 18.2	18.2 18.2		<u> </u>	+ =	1	1	1	=	0					18.2 18.2	18.2 18.2		<u> </u>		1	1		
		70 ①	-	_	-	-	0		157	157		- 2	-	2	2	1	0	_	—	—	0	_	157	157	_	- 5	-	5	5	_	細長い居室等を適用
		1 2	<i></i>	0	-		<u> </u>	0	79 112	238.8		<u> </u>	<u> </u>	2	12	(1) (2)		0	-			0	79 112	238.8	-	<u> </u>	<u> </u>	3	13		
		3	) –	0		-	-	0	47.8	200.0		- 2	-	2	12	3	-	0	—	-	-	0	47.8	200.0		- 2	-	2	10	_	
		2 1		0			0		18	30		- 1	+ =	1	2	1		0	=		0		18 12	30		<u> </u>		1	2		
		3 1			0		0		44.5	44.5		- 2		2	2	1	_		0	_	0	_	44.5	44.5	_			-	-	6	
		4 ①		0	-		-	-	11	11		- 1	—	1	1	1	_	0	—	_	_	_	11	11		- 1		1	-	—	
MB3F		•	) 0		0		0		94 30	94 30	-	_	_	_	2	<u> </u>	0		0		0		94 30	94 30		<u> </u>			3		
MBOI			) –	—	0	—	Õ		30	30	1 - 1		—	_	1	9	—	—	Ő	—	0	—	30	30				_	—		
			) –	0	-	_	0		45	45					1	<u> </u>		0	-	_	0	_	45	45				_	—	4	
		11 ① 14 ①			0		0		30 30	30 30			+ =	1	1	<u> </u>	=		0		0		30 30	30 30		= =		+=	=		
	] [	15 ①	) —	0	—	—	—	—	23.3	23.3		- 1	—	1	1	1	—	0	—	—	—	—	23.3	23.3	-	- 1	—	1	1	—	
		16 ① 17 ①	) –	0					72.2	72.2				1	3			0		_		_	72.2	72.2		<u> </u>			3	4	
				<u> </u>			<u> </u>		49 103.7	49 103.7			+ =	_	1	<u> </u>		0			0		49 103.7	49 103.7		<u> </u>		_	3		
		1 1	) —	0	-	-	-	0	57.8	57.8		- 2	-	2	2	1	_	0	—	—	-	0	57.8	57.8	-	- 2	-	2	2	-	
			) –	0					49 52	49 52			+ =	2	2	<u> </u>	_	0	-			0	49 52	49 52		<u> </u>	_		3		大ばり2区画 大ばり3区画
		4 1		-			+		52	52	+ - +		_	_	3	_		0				0	52	52 55		— 4 — 3		_	4		入は93区画 大ばり3区画
B2F		5 ①	) —	0	-	-	-	0	274	274	-	- 5	-	5	5	1	—	0	—	—	—	0	274	274	-	— 10	-	10	10	—	大ばり5区画
521		6 1	) —	0		=	=	-	111 32	143				3	4	1		0			-	0	111 32	143		- 5 - 2		5			大ばり3区画
		- 1							32 16				+ =	1	-	1						0	32 16			<u> </u>		1		-	
		1 2	) —	0	-	-	-	0	43	59	-	- 4	—	4	5	2	—	0	—	—	—	0	43	59	-	- 4	—	4	5		大ばり4区画
		8 ①	) —	0	-		-	0	82	82	—	- 2	-	2	2	(1)	—	0	—	-	-	0	82	82	-	- 4	-	4	4	_	大ばり1区画

No.         No. <th></th> <th>炎感知器</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>知 器</th> <th>感务</th> <th>熱</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>• // /CL</th> <th></th> <th></th> <th>., ., ., .,</th> <th></th> <th>- <b>X</b>( - p)</th> <th>-&gt;1&lt;&gt;1</th> <th><b>Ni</b> = 0</th> <th></th> <th>知器</th> <th>「家:伯」</th> <th>90,200</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>1 1/2 0 1</th> <th></th> <th>11412</th> <th>Γ</th>		炎感知器										知 器	感务	熱					• // /CL			., ., ., .,		- <b>X</b> ( - p)	->1<>1	<b>Ni</b> = 0		知器	「家:伯」	90,200						1 1/2 0 1		11412	Γ
No.         No. <td>備考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>則</td> <td>規則</td> <td><u>行</u> 規</td> <td>去 施</td> <td><u>防</u>法</td> <td>消</td> <td></td> <td>規則</td> <td>も 行</td> <td><u>坊 法</u></td> <td>消</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>\</td> <td>  </td>	備考									則	規則	<u>行</u> 規	去 施	<u>防</u> 法	消												規則	も 行	<u>坊 法</u>	消								\	
N         N		消防法施行規則 に準短して感知器 を設して感知器 を設して感知器 に設合して感知器 に設合して感知器した。 に設合しての感知器にはない なのにの感知器と組合せ てある。なお、一部 について他の部屋 番号の感知名があ り、その場合の組 合せる感知器は(備 考欄に記載した感	見なす て1つ	をしまし	つの感知器	นば1つ0 場合は、:	内であれに	15㎡以内 つ隣接し	を含め1 画が1つ	部分を 0小区回	器の種別 器の種別 読当部 以下の小	に、感知器 5 5 5 5 が以 た 5 ㎡以	3分ごとに きする感知 区画され を設けるな	<u>し</u> し と す る。 よ 勝 接 m 未満で 区 最 (特殊) を ら	って区画 ま1 m 以上 基続する場 m 以上 1 r 基準書 型感知器	るよう設け 特種 ) ち は り に が の 、 4 に り 高さ 事 地 り に が 事 地 り こ な 、 の た で 通 い の こ の で で い の こ の で の 、 の に の し の 高さ の 、 の に り の こ の で の し の こ の で の っ こ の っ の こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ の っ こ の っ こ の っ こ の っ こ の っ の こ の っ の こ の っ の こ の っ の こ の っ の こ の っ の こ の っ の こ の っ つ っ つ っ つ っ の っ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	有効感知面で 床面で 35㎡ のないもの 可動火災報 にはり等の 5。 す動火災報 5。 す動火災報 5。	ら0.4m以 ら0.4m以 に、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	取上に 取上に 加速 加速 加速 加速 加速 加速 加速 加速 加速 加速	壁 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	以上の個 11区域と 0771つ	つき1個J つの感知 3分を含め	床面積に を含めて1 よ、当該音	表で定める 当該部分 いる場合	ごて次の: 知区域る )隣接して	高さに応し 接する感	の種別及て 付け面の計 範囲の隣 以下の小区	 [に、感知器 重別及び取 話さに応じた れた10㎡J	た部分ごと 感知器の利 る。 、取付面高 満で区画され	って区画され 区域ごとに 1m以上とで 基準書 車続する場 り以上1m未	-る。 を除く感知 。 :、はり高さ 設領工事 3 ジン区域がい う さが0.6m ン(傾斜路)	ふ よう う い よ た こ 床 5 い た た た た の ポ に 床 5 い た 、 い た た た の ポ い た た の ボ い た た 、 い た 、 の 、 い た 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の の の の の の の の の の の	m 感 端 し な よ う に 、 に く の な し 、 し に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	から0.6 か い た で 、 か に 、 か に 、 か に 、 た し で 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 か に 、 あ に 、 あ に 、 あ に 、 あ に 、 あ に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う に 、 う 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	は数 3条以面 k 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	壁 上 の 第 2 感 数 取 れ 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
X X X X       N       X </td <td></td> <td><u>م</u></td> <td>,</td> <td></td> <td></td>																																				<u>م</u>	,		
Image: Part Part Part Part Part Part Part Part		0.5L	A =1	n. 🕶 🔟	或数設置	法 減数	<sup>責</sup> 消防法				総面積	小区画	ė ,	り等の高さ	はり		さ	高		感知	A =1	=n. == ±L	減数設置	消防法			総面積	小区画			04,20				- 10 42 07 00		区画	火災	┢
Normal		台計	合計	设直致						m		面積	m≺x m)	<1n	<u> </u>	(15 <b>~</b> 20m)	(8 <b>~</b> 15m)	(4~8m)	(~4m)		合 計	設直数						面積	<1m)	(0.6m>)	15 <b>~</b> 20m)	~15m) (	m) (8~	(4~8m	(~4m)	区域	部屋番号	階	
Normal			-				_						-	-	-			-		1	-	1							-	-				-		(1)			
No	ばり6区画		14	-		-	5				287	47	о С	0	0	_		Ō			6	-	-	2			287	47	0	0			-	Ő			9		
			-																	<u> </u>	1	1												_		( <u>4</u> ) (5)			
	- Lloga		1				1				23				-				-	1	1	-					23								-	2 ①	1		
			15				_				249		-	-				-		(1)	14	_					249		-					-		3 2	1		
		—		1		-	1					11	C	0				<u> </u>	_	3		1		1				11	0						_		Ľ		
Normal	感知器はR-5-23②と兼用 ゴル3区画		4				_				54		-	-		-				<u> </u>	2						54				-					5 2	1		
				-			- ·			· –	04		-	-				-			-						04							-			· · ·		
	感知器はR-5-69②と兼用													-						1																1			
	より3区画		4	-						· –	54			-				-		(2)	2	- · · ·					54		-							6 (2)	1		
No.         No. <td>ざり8区画</td> <td></td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>465</td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>~</td> <td>9</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>465</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>- 1</td> <td></td> <td></td> <td></td>	ざり8区画		16			-	-				465		_		-				~	9	11						465								-	- 1			
B37         N	-		10			_	-					-	-							2		-						-								/ 2	Ľ		
No         No        No        No         No <td>192区画</td> <td></td> <td>3</td> <td>, in the second second</td> <td></td> <td></td> <td>, v</td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>72</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>_</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>72</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8 (1)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td>	192区画		3	, in the second			, v			_	72		-					-			2	_		-			72		-							8 (1)	1		
NAME         Image: Section of the		· · · · ·	4								92.9									<u> </u>	3	1					92.9							-		9 2	B_2_ 1	DOF	
N         N				_		_	_						_					<u> </u>		<u> </u>		1												<u> </u>		3	R-3-	BZF	1
Normal			ŀ				-	_											-	2	1	-												-		(1)			
Normal         Normal<		2	6					—		6	135.6	25.2						_			7				—		135.6							-		3	2		
MBZF         Image: Construction of the construction o			Ŭ.	1			1				100.0	24						-			l '	1					100.0							-			-		
$ \mathbb{N} = \mathbb{N} =$			ŀ	2			2		-	$\vdash$								<u> </u>		9		2												<u> </u>		9			1
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			1	1		_	1					5.8	-					_	-	Ĩ	1	1	_	1				5.8				-	-	—	-	e 1	2		1
MB2F $\mathbb{P}_{4}$ $\mathbb{O}$ $   485$ $485$ $   -$							-								-			-		<u> </u>		-																	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$						_									1			-		<u> </u>		1							1	-									
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$		—	1	1	-	-	1		—	5	3.5	3.5	-	-	- 1	_	—	_	-	Ĩ		_	_	1	—	—	3.5	3.5	-				-	—	-	32 <u>1</u>	3		1
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$															-			-		9										_				-		- <u> </u>			
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			The second se			_	1					60	_		1			-		~ ~								1		-						1			
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			2	1	-	-		—	-	.5	13.5	6.7	-	-	0			—	0	2	2	1	_	1	—	—	13.5	6.7	-	0			-	—	-	2	3		
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			2							5	11.5										2						11.5							-		20	3		1
NB2F         R-4         1         0          0           1          1         1         0          1         1         0          1         1         1         0           1         1         1          1         1         1         0           1         1         1         0           1         1         1         0           1         1         1         0           1         1         1         0           1         1         1         0           1          1         1         1         0         0           1         1         1         0         0           1         1         1         0         0           1         1         1         0         0           1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1			1								6.7		_					-			1						6.7										4		
MB2F         I			1	1	-	-	1	—	—	9	3.9	3.9	-	_	—	_	-	0	—	Ĩ	1	1	_	1	—		3.9	3.9	_	—	_	_	-	0	—	11 ①	4		L
MB2F         R-4         0           0         10         164          1          1           0           0         10         164           1         1 <td>····································</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td><u> </u></td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>L.</td> <td></td> <td></td>	····································		1				-				10.7								-	<u> </u>	1	-					10.7								-		L.		
MB2F         Image: Second	目はすべき		6								164			-							7	_					164							-					
MB2F       R-4       7       0       0       -       -       -       0       31.2       31.2       -       -       2       2       0       -       -       -       -       -       2       2       1       0       -       -       -       -       2       1       0       -       -       -       -       2       1       0       -       -       -       -       -       2       1       0       -       -       -       2       1       0       -       -       -       -       2       1       0       -       -       2       1       0       -       -       0       31.2       31.2       31.2       -       -       2       -       2       2       1       0       0       -       -       -       0       31.2       31.2       31.2       1       2       2       -       1       1       1       1       0       0       -       -       -       2       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       <	ばり2区画	— J		_		-	_	—	—			31	С	0			_		_	3		2	_	2				31	0			-	-	-		3			1
8       0       -       -       -       0       33.5       33.5       -       -       2       2       1       0       -       -       2       -       2       2       1       0       -       -       -       -       -       -       2       -       2       -       2       2       0       0       -       -       -       -       2       -       2       -       2       2       0       0       -       -       -       -       2       -       2       2       -       0       33.5       33.5       -       -       2       2       2       -       0       33.5       33.5       -       -       2       2       2       -       0       33.5       33.5       -       -       2       2       2       -       0       0       0       -       -       0       33.5       33.5       -       -       2       2       2       2       -       1       1       1       0       0       -       -       -       0       2       2       2       2       2       2       2       2       2													_							<u> </u>														-				MB2E	
9       0       -       -       -       -       0       1						-	1													<u> </u>														-				NUZE	1/1
12 ① O 284.8 284.8 13 - 13 13 ① O 284.8 284.8 14 14 - 14 14 -		—	1	1	-	-	1	—	—	.5	20.5	20.5	C	0	- 1	_	—	_	0	1	1	1	_	1	—	—	20.5	20.5	0	—	_	-	-	—	0	9 1	ę		
															-				-	<u> </u>														_	-	0			
		_			-								_		-			_	0					13				284.8 5.6			_	= +				<u>z</u> () 5 (1)			

消	防法	に準	拠し	た火	災感	約器6	D配置を	示した	一覧表	長(対象	象:消降	防法施	行規則	」 第23条	第45	頁に該	当する	火災愿	家知器	影(原	子炉建	屋】														
\										炟	重 感	知 器	-													熱感	知 器								炎感知器	備考
			へ等の	23条第	/ 百	=			洋	肖防	法族	拖 行	規則							(人)(())	3条第4項	= _			消	方法 旅	16 行 3	現 則							消防法施行規則 消防法施行規則	
			壁∑ 上の ◆第: 感知	又は取付 個数を、 23条第 知器は、	†面かり 火災  4項 廊下、	ら0.6ml こ有効感知 七 ホ 通路、階	ロするよう設 没及び傾斜	ける。						び取付け面の 高さに応じて						壁又( き1個) 取付 4m未 4mと	よ取付面か 以上の個数 面高さ ミ満 ↓上~8mラ	から0.4m比 なを、火災に∺ 未満	有効感知す 床面積 70㎡ 35㎡(	るよう設ける (特種) 特種)	00		こ、感知	景の種別に	及び取付	面の高さに	こ応じて次	の表で定	める床面	積につ	に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感知器に設 置数が記載されて	
/	$\setminus$		取作 4m 4m	付面高さ n未満 n以上~	20m <del>;</del>	未満	ように設け 床面 150m 75m	漬 n <sup>1</sup> i	· + 1 [1]											◆日本	火災報知根 身の深さが	はり高さに〇 機工業会 自 0.4以上1r	自動火災報知	の設備工事業	基準書		感知区域を	該当部分	を含め1	5㎡以内7	であれば1	つの感知	器区域と	見なす	いる同じ部屋番号 に設置数が記載されている煙感知器 又は熱感知器が, 炎感知器と組合せ	
			◆日: はり	本火災幸	報知機 さが0	工業会 . 6m以上	)のないもの 自動火災報 :1m未満で	知設備工事	事基準書			高さに応じ	た範囲の隣	<b>巻接する感知</b>	⊠域を当	当該部分。	を含めて1	つの感知	区域と	小区	画が隣接し	ている場合 ることができる		聚さが0. 4n	n以上1m才	ミ満で区画さ	れた5㎡以	「下の小臣	⊠画が1つ	0隣接して	いる場合(	よ、当該部	3分を含め	て1つ	交感知器と組合して設置する感知器である。なお、一部について他の部屋 番号の感知器と組	
		Ń	取作 4m	付面高さ n以上~:	: 8m未	:満	床面和 60m	2	Smlil F1		で区画され	わた10m <sup>2</sup>	ከጉወጣ	区画が1つ隣	てい	\ス提会!⁻	+ 当該部	分を今め	r10	細長し	い居室等の	機工業会 自 )場合 iの細長い居				持殊)を設ける	る場合は、	步行距離	13m/21	つき1個以	上設ける。				合せる場合があ り、その場合の組 合せる感知器は備 考欄に記載した感	
			の感 ◇第	知区域と 23条第	とするこ 4項	ことができ 七 へ(j	る。 通路、階段及	ひび傾斜路	;)											上記に	記載のない	い消防法施行	テ規則につい	いても準拠し	て感知器を	設置する。									知器となる。	
			る。				-めっては歩 行規則につ					を、階段及	ひ傾斜路	にあっては垂	<b>直</b> 距離	15ml25	さ1値以。	上の個剱る	r設け																	
火的	災 区 i 部屋		感知 区域	1 t (~4	lm)	高 (4~8m)	さ (8~15m)	(15 <b>~</b> 20m	+		.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 &lt;75㎡</td><td>総面積 総 (1+1) (1 +10㎡ &lt;6</td><td>+n) /</td><td>肖防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td>(~4m)</td><td>高 (4~8m)</td><td>さ (8~15m)</td><td>(15~20m)</td><td>はり等 (0.4m&gt;)</td><td>の高さ (0.4m<x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 &lt;35㎡</td><td></td><td></td><td>消防法 注 設置数</td><td>咸数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 総 (1+1) (1 +10㎡ <6	+n) /	肖防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8~15m)	(15~20m)	はり等 (0.4m>)	の高さ (0.4m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 &lt;35㎡</td><td></td><td></td><td>消防法 注 設置数</td><td>咸数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 面積	総面積 <35㎡			消防法 注 設置数	咸数設置 適用	設置数	合 計	合計	
μÐ	印度1		1	(~4		(4~8m)	(8~15m)	(15~20m	n) (U.6m.	<	(1m)	24	24		_	1			1	1	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	<1m)	24	24		_	2		2	2		
I		17	1	0	)	_	—	—			- 1	17.6	17.6		-	1	_	1	1	1	Õ	-	—	—	_	_	17.6	17.6	—	-	1	_	1	1	—	
MB2F	R-4-		1	0				-	0		= +	24 19.3	24 19.3		-	1	_	1	1	(1) (1)	0				0		24 19.3	24 19.3	_	-	2	_	2	2		
		20	Ű	0	)	_	—	—			- 1	17.6	17.6			1	_	1	1	1	Õ	—	—	—	_	—	17.6	17.6	-	- 1	1	_	1	1	—	
			1	0					+ -=	-	=	19.3 42.9	19.3 42.9		-	1	_	1	1	1	0	-					19.3 42.9	19.3 42.9	_	-	1	_	1	1		
		24	1				0	_	0	-	0	25	42.9			1	_	1		1		_	0	_	0	0	42.9	42.9	- 1		_	_		3	2	
			2			0	-	_	0		0	164				3	_	3		2	_	0	_	—	0	0	164		-	-	6	_	6			
			3 (4)	+ =			0	-	0		0	107 143	-		-	4	_	4		3 (4)	_		0		0	0	107 143		_	-+	-				7	
			5	+ -		0	_	-	0		0	284	-		- †	7	_	7		5	_	0	_	_	0	0	284		_	-	15	_	15			
			6	-		_	0		0		0	123			-	3	—	3		6	_	—	0	_	0	0	123		_	_	-	—	_		3	
		1	7	0					0		0	201 75	1736		=+-	4	_	4	46	7	0				0	0	201 75	1736	_	-	5	_	5	48	4	
		1.	9	-		_	0	—	0		0	12	1/00		-	—	_	- -	10	9	_	-	0	—	0	0	12	1700	-	-	-	_	_	10	1	煙感知器はR-5-1⑦と兼用
			10			0	_	-	0		0	74			-	2	—	2		10	—	0	_	_	0	0	74		-	-	4	—	4			
			(12)	+ =		0	0		0		0	50 288	-		-	2 8	_	2 8		(11) (12)	_	0	0		0	0	50 288		_	-	14	_	14		3	
			13	-		_	0	—	Ő		Õ	67				2	-	2		13			0	—	Õ	Ő	67		-	-	—	—	—		3	
			(14)	+ =		0			0		0	29 94	_		=+-	1		1		(14) (15)		0			0	0	29 94		_	-+	1		1			
		3	(1)	_			_		+ =		= +	22	22		-+-	1	_	1	1	(1)	0		_				22	22	-		3	_	3	1	_	
		-	Ĩ		-	0	—	—			-	165	165		-	3	_	3	3	Ĩ	_	0	—	—	_	—	165	165	-	-	5	—	5	5	—	
			1			0			+ =		= +	7.3	7.3		=+-	1	_	1	1	(1)	0	0					7.3 7	7.3	-	-	1	_	1	1		
1		13	1	1 -	-	_	0	-	-		-	38.8	38.8			1	_	1	1	1	_	-	0	-	_	-	38.8	38.8	-	_	_	_	-	<u> </u>	2	
1						0	-	-			=	24	24			1	_		1	<u> </u>	_	0	—	_	_	-	24	24	_	-	1	_	1		—	
B1F	R-5-	15	1	0	)		_		+ =		= +	60 16	60 16		_	3	_	3			0	=					60 16	60 16	-		3	_	3 1	-		
			1			0	—	—	0		0	394				12	_	12		1	_	0	—	_	0	0	394		-		19	_	19			大ばり10区画・中ばり9区画
1		17	2			0		-	0		0	77 26	497			3		3	16	2 3	_	0			0	0	77 26	497	_	-	3	_	3	23		大ばり3区画
1		18	1			_					_	37	37			2	_	2	2		0			_	0		37	37	_	-	2	_	2	2		
1			1			_	—	—	_		0	19.7	19.7			1	—	1	1	1	Ō	_	—	_	_	0	19.7	19.7	—	-	1	—	1	1	—	
1			1			0			0		0	159.8 22.5	159.8 22.5			4		4		<u> </u>	_	0			0	0	159.8 22.5	159.8 22.5	-	-	4		4			
1			_	-	_	0	-	-			0	33.5	33.5			1	_	1			_	0	-	-	_	0	33.5		-		1	_	1		_	
1			1			_	-	-			-	18	60			1	-	1	2	1	0	_	—	_	_	_	18	60	_		1	—	1	1		
1			2			0		-	+ =			42 38	38		_	1	_	1	1	2	0	0					42 38	38	-	-	1	_	1	1	2	
1			1	- 1	-	_	0	—	-		0	49				1	_	1		1	-	—	0	—	_	0	49		—	-	-	_	_		4	
1		28	2			0	_				0	73	335	-		2	_	2	7	2	_	0	_		_	0	73	335	_	_	3	_	3	7		大ばり2区画
1			( <u>3</u> ) ( <u>4</u> )			0	<u> </u>		╞		0	97 116	1			2		2		3 ④		0	<u> </u>			0	97 116		_	-+	4	_	4		8	スはツム区回
1			1		-	0	—	—	-		-	132				4	—	4		1	_	0	—	—	_	—	132		_	- 1	4	_	4		—	
1			1	-		0	0		+ =		0	77 156	77 156		_	2		2			_		0			0	77 156	77 156	_	-	5	_		5	2	大ばり2区画
			1			0	=		+ =		=	193	193			4	_	4		<u> </u>		0			_		193	193	-	-	5	_	5			
	1		(Ť)			0	—	—	—		-	130	130			2	_	2	2		_	0	—	—	_	—	130	130	—	-	4	_	4		-	
1					1	_	0	- 1	I —		0	104	104			2	—			1	_	—	0	—	_	0	104	104	-	-	-	_	—		7	大ばり2区画

	1001001	- + 1/2			1/2011			JUX		5 知 暑		用23采用	- XI - R	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	., ., ., .,	1() () H			-/				熱感	知 器								炎感知器	1# *
$ \rangle$								消	<u>下</u> 防 法													消	防法加		規則							消防法施行規則	備  考
		「 雪上 の う の 見 プ 肥 数な 取 4 4 4 4 4 4 1 に 7 一 数な 取 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	達の 第感を収計計** 日はな収計 小感 第又個 23知、付未以複 本りすて同以 区知 23知、付未以複 本りすて同以 回知 33、以面満上区 災のと高上 カエ 条	を、第2500~20 災2500~20 災2500~20 報告:20 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	NGO. 6 mLy に	<ul> <li>知するよう</li> <li>設みび(額)とうに</li> <li>(本)のない</li> <li>(本)のない</li> <li>(本)のない</li> <li>(本)のない</li> <li>(本)のない</li> <li>(本)ののない</li> <l< td=""><td>t ける。 路る。 積 前 ・ は 、 は り の 高 一 、 、 に い し 数 近 で い 、 に い し 数 近 で い 、 、 で い 、 、 に い し 、 し の の の で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 、 に し り の 、 で 、 で 、 、 し し の の で 、 、 に し り の 、 で 、 、 し し の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の し の の の の の の の の の の の の の</td><td>よって区画さ 知区域ごと う 事基準書 が連続する丸 Gm以上1m ;)</td><td>ちれた部分ご。 に、感知器の とする。 易合、取付面 未満で区画で</td><td>とに、感知 0種別及び: 高さに応じ された10n</td><td>器の種別及 取付け面の だた範囲の隊 ポ以下の小[</td><td>び取付け面の高 高さに応じて次の</td><td>を当該部分 ている場合</td><td>る床面積に∽ →を含めて1 →は、当該部</td><td>つき1個以 つの感知 分を含め</td><td>上の個 区域と て1つ</td><td>壁1 町 和 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>以 し 向 さ ま い 数 た 、 の の ら さ 本 、 の の の の の の の の の の の の の</td><td>から0.4mJ 数を、火災に 末り高さにCC 機工まり高さにCC 機工またのできることである。 している場合き している場合き している場合き している場合を している。 していののの。 している。 している。 している している。 している。 している している しい</td><td>以上突出したす 床面都 ないもの 自動未 はり等の 設 る。 自動火災で火 ない もの ま る。 自動火災で火 で た の ない た の た の た の た の れ もの に し の の な い もの の に し の の な い もの の の な い もの の た の で い もの の た の な い もの の た の な い もの の な い もの の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た つ た の た つ た の た つ た の た つ た の の の た の の た の た の た の た の た の の た の の た の た の た の た の た の の た つ た の た つ た の た の た の た つ た の た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た う た つ つ つ た つ た つ た つ た つ た つ つ た つ た つ つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ つ こ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ</td><td>るよう設ける (特種) 特種) な、 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>って区画さ る。</td><td>れた部分ごる :する。</td><td></td><td>器の種別 こ該当部۶ 以下の小 </td><td>♪を含め1 区画が1つ</td><td>5㎡以内 D隣接して</td><td>であれば</td><td>1つの感知 計は、当該普</td><td>コ器区域と</td><td><u>-</u>見なす</td><td>消防港処して感知器 を設置する。 *炎が記載定番号 に設置する。 に設置数が記載定番号 に設置数が記載式を番号 に設加器に知器 な気置数が記載式 を加いている に設加器 に数 感知器 の に 数 感知器 の に た の る 同 ご 数 が の に の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の の</td><td></td></l<></ul>	t ける。 路る。 積 前 ・ は 、 は り の 高 一 、 、 に い し 数 近 で い 、 に い し 数 近 で い 、 、 で い 、 、 に い し 、 し の の の で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 、 に し り の 、 で 、 で 、 、 し し の の で 、 、 に し り の 、 で 、 、 し し の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の し の の の の の の の の の の の の の	よって区画さ 知区域ごと う 事基準書 が連続する丸 Gm以上1m ;)	ちれた部分ご。 に、感知器の とする。 易合、取付面 未満で区画で	とに、感知 0種別及び: 高さに応じ された10n	器の種別及 取付け面の だた範囲の隊 ポ以下の小[	び取付け面の高 高さに応じて次の	を当該部分 ている場合	る床面積に∽ →を含めて1 →は、当該部	つき1個以 つの感知 分を含め	上の個 区域と て1つ	壁1 町 和 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	以 し 向 さ ま い 数 た 、 の の ら さ 本 、 の の の の の の の の の の の の の	から0.4mJ 数を、火災に 末り高さにCC 機工まり高さにCC 機工またのできることである。 している場合き している場合き している場合き している場合を している。 していののの。 している。 している。 している している。 している。 している している しい	以上突出したす 床面都 ないもの 自動未 はり等の 設 る。 自動火災で火 ない もの ま る。 自動火災で火 で た の ない た の た の た の た の れ もの に し の の な い もの の に し の の な い もの の の な い もの の た の で い もの の た の な い もの の た の な い もの の な い もの の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の な い もの の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た つ た の た つ た の た つ た の た つ た の の の た の の た の た の た の た の た の の た の の た の た の た の た の た の の た つ た の た つ た の た の た の た つ た の た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た う た つ つ つ た つ た つ た つ た つ た つ つ た つ た つ つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ つ こ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	るよう設ける (特種) 特種) な、 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	って区画さ る。	れた部分ごる :する。		器の種別 こ該当部۶ 以下の小	♪を含め1 区画が1つ	5㎡以内 D隣接して	であれば	1つの感知 計は、当該普	コ器区域と	<u>-</u> 見なす	消防港処して感知器 を設置する。 *炎が記載定番号 に設置する。 に設置数が記載定番号 に設置数が記載式を番号 に設加器に知器 な気置数が記載式 を加いている に設加器 に数 感知器 の に 数 感知器 の に た の る 同 ご 数 が の に の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の の	
火车	災区画	61		載のない		行規則につ さ	いても準拠		を設置する。			総面積 総面積	NK RL NL	<u></u>					高	5		はりき	手の高さ		40 <del>- 1</del> +	総面積	総面積		144.50 m				
階	部屋番	感区	知 [域 (~	<b>~</b> 4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m	-	(0.6m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	林ら山作見 林ら山作り (1+1) (1+n) +10㎡ <60㎡	<sup>1</sup> 消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <35㎡		(1+m)	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
		35 (2	~	-	0 0			0	-	23.8 21	69.8		1	-	1	3	1	_	0	-		0		23.8 21	69.8		-	1 1		1	3		
		38 (1	<u> </u>	0	0		-		+ =	25 30.6	30.6		1		1	1	3	_	0			-		25 30.6	30.6	=		1		1	1	-	
		39 (1	D	0	_	—	- 1	-	—	45	45		1	—	1	1	Ű	Ő	—	- 1	_	—	—	45	45	—	_	1	_	1	1	_	
		40 (1 41 (1	<u> </u>	0	0		+ =		0	19 32	19		2		2	2	1	0	-				0	19 32	19 32	_	-+	2		2	2	-	
		43	~	-	-	-	-	_	0	79	133		3	-	3	4	1	-	_	-	-	-	0	79	133	_	-	6	_	6	12		
		45 (1	<u> </u>	-	0		+ =	0	+ =	54 6.9	6.9		1	=	1	1	(2)	<u> </u>	0			0		54 6.9	6.9	_	-+	6		6	1	-	中ばり9区画
		46 (1	<u> </u>	0	_	_	- 1		—	7.7	7.7		1	—	1	1	1	0	—	_	_			7.7	7.7	—	- 1	1	_	1		_	
B1F		47 (1 48 (1	š	-		0			+ =	6.9 36	6.9 36		1		1	1	(1)			0				6.9 36	6.9 36	_	-+	-		+=	-	1 2	
		49 (1	<u> </u>	-	-	Ō	- 1	—	—	33.9	33.9		1	-	1	1	1	-	—	Ō	_		- 1	33.9	33.9	—	- 1	-	_	-	—	2	
		50 (1 51 (1	<u> </u>	0					0	4.1	4.1		1		1	1 2		0					0	4.1 42	4.1	_	-	1		1	1		
		52 (1	<u> </u>	-	0	- 1	- 1	—	—	29.1	52.6		2	- 1	2	4	1	_	0				-	29.1	52.6	—	- 1	2	_	2	4		
	R-5-	53 (1	~	-	0		-		+ =	23.5 29.7	29.7		2		2	1	2	<u> </u>	0			-		23.5 29.7	29.7	_	-+	2		2	1	-	
		54 (1	<u> </u>	-	0	—	-	—	-	15	15		1	-	1	1	1		0	—	—	—	—	15	15	_	-	1	—	1		—	
		55 (1 56 (1	<u> </u>	-	0		-	+ =	+ =	25.4 32.7	25.4 32.7		1	-	1	1	1	-	0	-		-		25.4 32.7	25.4 32.7	_		1		1	1	-	
階段		59 (1	<u></u>	_	0	-	-		-	63.2	63.2 11.9		1	-	1	1	1	-	0	-	_	-	-	63.2 11.9	63.2 11.9	_	-	2	_	2			
咱权	1	60 (1	<u> </u>	-	0	-	_		-	11.9 14.8	11.9		4	-	4	4	1	_	0	-	_	_	-	14.8	11.9	_	-	6 1		6 1	6	_	
		61	~	-	0		-	=	<u> </u>	64.4 34.5	113.7		1	=	1	3	2	-	0			-		64.4 34.5	113.7	_	_	3		3	4		
		63 (1	<u> </u>	0	_	_	-	-	-	34.5	31.3		1	_	1	1	1	0	_		_	_	-	34.5	31.3	_	_	1	_	1	1	<u> </u>	
		65 (2	<u> </u>	0	0		-		0	38.7 5.4	51.3		2	-	2	3	1 2	 0	0	-	-	-	0	38.7 5.4	51.3	_	-	2	-	2	3		煙感知器、熱感知器はR-5-65①と兼用
B1F		00 (3	-	_	0		_		-	5.4	51.5		1	_	1	0	3		0		_	_		5.4 7.2	01.0	_	-	1	_	1			
		66 (1	<u> </u>	_	0	_	-	—		45	45		1	—	1	1	1		0	-	—	—	-	45	45	—	-	2	—	2		—	
		67 (1	<u> </u>	0			-	0		10 19	10		1	-	1	1	1	0	-	-		0	-	10 19	10	_		1		1	1	-	
		69 🤇	2)	—	0	—	—	0	—	41	81		1	—	1	3	2	—	0	—	_	0	—	41	81	—	- 1	—	_	-	2	2	
		(	<u> </u>	0	0	=	+ =		+ =	21 3.6	+		1	=	1		3 (1)		0			<u> </u>		21 3.6				1		1		-	
MB1F		3 🤇	2)	-	_	0	—	0	—	32.8	45.5		1	-	1	3	2	—	—	0	_	0	—	32.8	45.5	—	-	-	—	—	2	2	
1F	-	8 (1	~	0		-	-		0	9.1 12.6	12.6		1	-	1	1	3	0	-		_	-	0	9.1 12.6	12.6	_		1		1	1		
		9 (1	1	0	_	_	_	0		46	46		1	_	1	1	Ĩ	Ō	_			0		46	46	—	_	2	_	2	2		
	R-6-	10 (1	<u> </u>	0		0	-	0		67 11	67		2	-	2	2	1	0	-	0		0	-	67 11	67	_		3		3	3	1	
MB1F			<u> </u>	0			_			130	1		1	_	1		2	0	_		_	_		130		_	-	2		2			
			~	_		0			0	28	185.7		1	-	1	5	3		_	0			0	28	185.7	_	_	_		=	2	1	麹咸知哭/+D_6_11/€の火咸加思し茶田
			<u> </u>	-	0	0	-		+ =	8 8.7	-		1		1		<u>4</u> 5		0	0	_	-		8 8.7		_	-+	-		+=-	1	1	熱感知器はR-6-11⑤の炎感知器と兼用
								-				• • •						-												•			

		1.000			нада с		50244		知器		」	14 - 240 B										熱感	知 器							炎感知器	
\							消	防法													消	方法 旅		則						消防法施行規則	備考
		壁上の 第 感 家 を を れ れ 本 和 日 は な れ い 感 第 、 、 数 取 れ 、 、 、 数 取 れ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	)個 323条 第4項 523条 544 544 544 544 544 544 544 54	から0.6m以 から0.6m以 からの、6m以 たい で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	ロするよう設 没及び頃得る なうに設ける れうに設ける すうのないもの 引助水炎満で、 高のが、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ける。 客を除く感知 5.5 青 f f は、はり高さ ロ設価工事 で して ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	つて区画さ	れた部分ごと こ、感知器の利 する。 結合、取付面積 未満で区画さ	<ul> <li>に、感知器</li> <li>種別及び耳</li> <li>高さに応じば</li> <li>れた10m<sup>6</sup></li> </ul>	器の種別及 取付け面の た範囲の障 「以下の小I	.び取付け面の; 高さに応じて次 弊接する感知区: 区画が1つ隣接 にあっては垂直	の表で定め・ 域を当該部分 している場合	る床面積に うを含めて いは、当該音	つき1個以 1つの感知	以上の個 ロ区域と 0て1つ	壁又個山 1 取付 1 取付 4 m 2 小感 1 日 4 m 2 小感 1 日 4 m 2 小感 1 日 2 小感 1 日 2 小感 1 日 2 1 3 1 4 m 2 1 5 1 5 1 6 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	以上の高 したの したの した して した した した した した した した した した した	NGO. 4m以 応 を、火災に	よ上突出した 有効感知う 床面積 70㎡( 35㎡( のないもの) 自動火災報鉄 、はり等の認 る。 当動火災報鉄 室等に定温 う規則につい	るよう設ける 特種 ) 特特種 ) な は り 高さ ま よ 、 に り ら さ が の 設 区 域 城 ボ い の こ さ よ 、 に り ら さ 、 ま ま 、 、 の 数 の 、 の 、 の 、 の し り 高さ ま ま 、 の し り 高さ ま ま 、 の の し り 高さ ま ま 、 の の の 、 の し り 高さ ま ま 。 の の の 、 の の 、 の の う こ う の こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ う の こ う こ う こ う の こ ろ つ こ う の こ ろ つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ う つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ う つ こ ろ つ う つ こ ろ つ こ ろ つ う つ こ ろ つ う つ こ ろ つ う つ こ ろ つ こ ろ つ う つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ つ つ つ つ つ ろ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ こ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	って区画され 1m以上と <u>基準書</u> 続する場合 n以上1m未 基準書 辺感知器(特	<ul> <li>れた部分ごと</li> <li>する。</li> <li>、隣接する県</li> <li> </li> </li> <li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></ul>	ziこ、感知器 惑知区域を計 :れた5㎡以	の種別】 亥当部分 下の小区	を含め15 【画が1つ	・㎡以内であ 隣接してい	れば1つ <i>0</i> 場合は、	感知器区域	と見なす	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 *炎感知器に設 置数が記載されて いる同じ部屋番号 に設置数が記載されて いる感知器を記知器 又は熱感知器と組合 又は熱感知器と組合品	
			こに記載のな	い消防法施	行規則につし	いても進物し	して感知器を	を設置する。																							
火豸	医画	12.10			5	, c 0+120		手の高さ			総面積 総面	砖		T				高	さ		はり等	の高さ			総面積	论面積 """					
階	部屋番号	感知 子    区域	印 或 (~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)		(0.6m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) (1+r +10m <sup>2</sup> <60i	1) 消防法	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 		総面積 <35㎡	(1+1)	》面積 〔1+n〕 〔15m <sup>1</sup> 〕 記 〔15m <sup>1</sup>			数合計	合計	
		1	-		0		-	_	14			1	-	1		1	_	-	0	-	_		14		-					1	
MB1F	R-6- 1	12 3			 0		=	0	124 23	185.1		·	-	1	4	2	0	-	 0	_		0	124 23	185.1	-	= -		-	2	1	
		(4)		0			=		5.4 18.7	-		_	_	-		<u>(4)</u>	_	0		_			5.4 18.7		_					- 1	煙感知器、炎感知器はR-6-12⑤と兼用
		1	_	_	0	_	-	0	42			2	—	2		1	_	_	0	_	_	0	42		-					3	
		2	_	0			0	0	38 82	-		1		1	-	2	_	0			0	0	38 82		-	= -		- 2	-		<u> </u>
		4		0			0	0	75	1		, i	-	3	1	(4) (5)	_	0	—	_	00	0	75		_		-	-	_	_	
		6		0	-		0	0	102 389	-		· ·	-	3	1	6	_	0		_	0	0	102 389		_	- 1		- 4 - 15	_		
		1 8	0	-			0	0	41 22	1089.2			-		29	7	0	0		-	0	0	41 22	1089.2	_	_		- 1	37		煙感知器はR-7-1⑥と兼用 煙感知器はR-7-1⑨と兼用
		9	0	-	—	—	0	0	38	1005.2		• 1	—	1	25	9	0	_	—	_	0	0	38	1005.2	-	-	-	- 1			
		(10)		-	0		0	0	8 125	-				1	-	(10)	_	-	0		0	0	8 125		-	= -		- 5	_	1	<u> </u>
		12	_	-	0	_	0	0	112	1		-	-	2	1	12	_	_	0		0	0	112							5	煙感知器はR-7-1(通と兼用
		13 14	-		-		-	-	7.1 8.1			-	-	1		13 14	0	-	_	_	1	_	7.1 8.1		_			- 1		-	陸窓知器はR-7-109と兼用 熱感知器はR-7-113と兼用
	-	3 1	Ŭ	-					22 25	25		-		1	1	15	0	-					22 25	25	_	_			1		
		4 ①	- 10	Ő	—	—	—	-	29	29			—	1	1	1	_	Õ	—	_	_	—	29	29	-	-		- 1	1	-	
1F	H	7 (1) 8 (1)		0				0	35.4 42.3	35.4 42.3	+ = + =	_	-	1	1	(1) (1)	0	0				0	35.4 42.3	35.4 42.3	_	=  -			_		<u> </u>
		9 <u>1</u>				_			67.8 72.5	67.8 72.5			=	1	1	1	0	-		_		_	67.8	67.8 72.5	-	= -		- 1		-	
		12 ①	) <u> </u>	0		—	0	0	175	175		4	—	4	4	1		0	—	-	0	0	72.5 175	175	-	-		- 8	8	<u> </u>	大ばり4区画
		14 ① 19 ①			0		0		95 209	95 209	+ - + -			2	2	1	0		0	_	0		95 209	95 209	-				-	5	·
	F	1	) _	0	—	—	Ō	0	156			12	-	12		1	_	0	—	-	0	0	156		-					6	大ばり8区画
	2	21 3			0		0	0	42 157	393			-	2	22	2	0		0	_	0	0	42 157	393	_			- 6	_	2	大ばり2区画 大ばり3区画
		(4)	) —	0	—	—	0	0	15	]		1	—	1	1	4	_	0	—	_	0	0	15		_	-	-	- 1	1	_	
	2	5 24 ①		0	-		0	0	23 27	27			-	1	1	5	0	- 0		_	0	0	23 27	27	_	-			-	-	
	2	26 ①			 0	_		0	36 2.7	38.7			=	2	3	1	0	_	 0	_		0	36 2.7	38.7	_	= -		- 2			大ばり2区画
	2	28 ①			0			0	2.7	165		-	_	9	9		0		0	_		0	2.7	165	_				10		天井裏に煙6個・熱7個設置
		29 ① 30 ①			-		-	0	68.5 67.4	68.5 67.4			-	4	4	<u> </u>	0		-	-		0	68.5 67.4	68.5 67.4	_	_		- 4	4		天井裏に煙6個・熱7個設置
		21 1	) —	0	—		—	0	34.9	67.4		1	—	1	3	Ĩ	_	0	_	_	_	0	34.9	67.7	-			-   -	2	2	
M2F		31 ② 33 ①	_	0	_		=	0	32.8 19.9	19.9			=	2	2	2	0	0	_	_		0	32.8 19.9	19.9	_	-		- 2			<u> </u>
1F		27 1	0	-		—	—	—	56	71		1	=	1	2	1	0	—	—	-	-	—	56	71	=	-		- 2	3		
M2F	F	37 2 ①		0			=		15 6.4			-	_	1		2		0	 0	_	-		15 6.4		_			- 1	_	1	l
	3	38 2		0	—	_	-	-	3.8	49.3		-	-	<u> </u>	2	2	-	0	—	-	-	—	3.8	49.3	-				1_	1	煙感知器はR-7-38③と兼用
1F		3		0	0				32 7.1	-				1	-	3 4		0	<u> </u>	_			32 7.1	-	-			= + =	_	1	煙感知器はR-7-38③と兼用
		40 ①	) —	—	0	—	—		87	87		-	-	3		Ū	—	—	0	_	_	0	87	87	-					4	大ばり2区画
	4	41 ①	_		0	—	_	0	214	214		7	—	/	7	1	-	—	0	_	—	0	214	214	—	-   -	-   -	-   -	-	8	大ばり7区画

	/////-	1 1/2 0							知器		弗23余9											熱感	知 器							炎感知器	144 - +7
\							消	防法													消		も 行 規	則						消防法施行規則	備  考
		壁の1 ◇感数取 4 mm 4 ・ 日はな取 り の の の の の の の の の り の り の り の り の り	個 23器火 ( ) 4 2 3 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4	からC 6 ml 災に て、通感 加 た、 し 感知 た 、 し た い し た 、 に 、 し 高 に 、 し に 、 し 高 に 、 に 、 に 、 に 、 、 に 、 、 に 、 、 、 に 、 、 、 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	田するよう設 段及び頃斜 らように床面和 150m 150	ける。 路を除く感失 う す れ、 設 の に は、 は り 高 さ す れ に 、 設 版 区 域 が に 、 で 除 く 感失 で 除 く 感失 で 除 く 感失 で 除 く 感失 で 除 く 感 失 で 除 く 感 失 で に 。 の の つ 。 。 の の の の の の の の の の の の の の	つて区画され 加区域ごとに き1m以上と 基準書 楽連続する場 m以上1m未 mにつき1個	れた部分ごと こ、感知器の する。 合、取付面 、 よ満で区画さ	とに、感知器 種別及び耳 高さに応じた ちれた10㎡	器の種別及 2付け面の た範囲の隣 以下の小国	び取付け面の 高さに応じて次 詳接する感知区 区画が1つ隣接 こあっては垂直	の表で定め 域を当該部 している場	らる床面積に 分を含めて 合は、当該お	つき1個以 1つの感知	以上の個 ロ区域と のて1つ	· 壁1 取 4 mi 2 を 1 4 mi 2 を 1 の の ● 日 は と い の の の 日 和 に と の の の の の の の の の の の の の の の の の の	以 山 高高 本 以 数 に 、 の で 画 の に 、 、 数 、 、 の の の で 、 し 、 の の の の に 、 る の の の の の に 、 る の の の の の の の の の の の の の	から0.4m以に なを、火災に 未満 より高さにO 4 し、4 以上1 てている場でき 4 ででいる場でき 4 ででいる場でき 4 ででいる場でき 4 ででいる場でき 4 ででいる場でき 4 ででいる場でき 5 での 4 し 4 し 5 での 4 し 5 での 5 で 5 での 5 で 5 での 5 で 5 での 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 で 5 での 5 て 5 で 5 て 5 で 5 て 5 で 5 て 5 で 5 て 5 5 て 5	有効感知す 床面積 70m <sup>(1)</sup> 35m <sup>(1)</sup> のないもの 自動火災報約 m未満で火! 、にはり等の る。 自動火災報約	るよう設ける 特種 ) 特特種 ) は 場工 事連 1 設区 端工 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	って区画され 5。 :1m以上と 基準書 続する場合 n以上1m 基準書 型感知器(将	れた部分ご する。 、、隣接する た、満で区画さ 寺殊)を設け	<u>1) 次</u> たに、感知器( 惑知区域を該 された5㎡以1 る場合は、歩	当部分を	含め15㎡」 が1つ隣持	以内であれば そしている場合	1つの感知 合は、当該き	コ器区域と	<u>-</u> 見なす	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置 感知器に設 置数が記載されて いる同じ部屋番号 に設置数が記載されて いる同置数が記載されて いる感量数が記載されて に設感知器なが れている煙感知器 又は熟感知器が 、 炎感知器と組合 で設置する感知器	
火災階	災 区 画 部屋番号	感知 子  区域	] ℓ (~4m)	高 (4~8m)	さ (8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)		の高さ (0.6m <x &lt;1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 総面 (1+1) (1+ +10㎡ <60	1) 消防2		<sup>昰</sup> 設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	はり等 (0.4m>)	の高さ (0.4m <x &lt;1m)</x 		凹假 (1 25 m <sup>2</sup> (1	面積 総面 +1)(1+r im <15r	)	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
	4	42 ①	0		-		_		45	45		1	—	1	1	1	0	—	_	_	_	<u> </u>		10		2	_	2	2		
	4	43 ①		0	0				80 32	80		-	-	2	2	1	_		0	_	0		80 32			1	_	1	-	2	大ばり2区画
	4	44 ②	-	—	0	—	0	0	58	90		3	—	3	4	2	—	—	0	_	0	0	58	90	-   -		_	-	1	2	
		45 ①			0		_	0	200	200		12	-	12	12	1	—	—	0	—	_	0		200	-   -		-	-	—	8	大ばり9区画 まぱい6区画
		46 ① 47 ①	-		0			0	214 60	214 60				12	12		0		0			0			=+=	2	=	2	2	8	大ばり6区画 大ばり2区画
	F	1		- 1	0	-	- 1	0	19	00		_	- 1	<u> </u>	<u> </u>	1	_	- 1	0	_	_	0	19		- 1 -		-		2		煙感知器はR-7-49②と兼用
1F	4	49 🕘	_	0	-	-	—	0	19	61			-	1	2	2	—	0	—	—	—	0	19			-	-	-	-	1	
	L	3	-		0	-		0	23			-		1		3	_	L –	0	—	_	0	23			—	_	-		1	
	5	50 ①		-	+ =		_	_	9	9		_		1	1	1	0		-	_		-	9	~		1		1	1		
	5	51 🕕	0	0	+ = -				19 15	34				1	2	0	0	0		_			19 15	34		1		1	2		
	5	52 ①	-	_	0	- 1	0	—	95	95			-	2	2	Ũ	—	_	0	_	0	—					-	<u> </u>	-	5	大ばり2区画
	5	53 ①	-	-	—	—	_	—	7	7			-	1	1	Ĩ	0	—	—	—	_	—	7	7		1	-	1	1	—	
	5	54 ①	-	-	-	-	-	_	16.1	16.1		1	-	1	1	1	0	-	-	-	-	—				1	-	1	1	—	
M2F	5	55 (1)	-		0			_	24 41.5	65.5				1	1	(1)		<u> </u>	0	_			24 41.5	ibb —	= - =	-	=	-	1	2	煙感知器はR-7-55(1)と兼用
MZF	5	56 ①		0	<u> </u>			_	41.5	13		_			-		0	0		_	_	_					_		-		煌感知器はR=7=35①と兼用 煙感知器、熱感知器はR=7=55と兼用
		57 ①		Ő	- 1	-	-	—	13	13			-	- 1	- 1	Ű	_	Õ	—	_	_	—			-   -	-	-	- 1	-	-	煙感知器、熱感知器はR-7-55と兼用
		58 ①	-		0	-	—	0	66.4	66.4		2	—	2	2	1	—		0	—	—	0		JU. <del>T</del>		—	—	—	-	2	
		59 ① 60 ①	0	-			-	_	8 27.8	8 27.8				1	1	(1)	0	-	-			-	8 27.8	-	=+=	1		1	1		
	F	60 () 61 ()	-	+ = -	+			_	27.8	27.8				1	1	1	0									1		1	1	_	
1F	R-/-	62 ①	—	0	—	—	—	—	15.8	15.8			—	2	2	Ű	_	0	—	—	—	—	15.8	5.8			—	2	2	—	
		63 ①		0	-	-	-	—	8.6	8.6		_	-	-	1	1	_	0	—	-	-	—	0.0	0.0		-	-	1	1	-	
		65 ① 66 ①			+ =		-		16.2 36	16.2 36				1	1		0								= + =		-	1			
		67 ①		+	+		_	_	36 16	16				1	<u> </u>	<u> </u>			_	_						-	_	<u> </u>	1		
		68 ①		0	-	-	—	—	64.3	162.4		1	-	1	3	Ű	_	0	—	—	_	—	64.3				-	2	5	_	
RHK CD	Ľ			0	-	-	-	—	98.1					2	0	2	-	0	—	-	-	—	98.1			-	—	3	-	_	
階段		69 ①	0		+ = -	+ = -	_		12.1	12.1			+ =		2	<u> </u>	0								=+=	_			3		
			-	0	+ = -	=	=	_	24.2 35.6	24.2 35.6					1			0	=	_	_				= =		=		2		
		75 ①		0	- 1	—	—	0	19	19			-	_	1		—	0	—	_	_	0		19	-   -	_	—		1		
		76 1		0	-	-		0	19	61			-	1	3	1		0	—	—	_	0	19	61	= =		_	1			
	Ļ	<sup>/0</sup> 2	0	0	<u> </u>			0	42				_	2	1	2		0	-	_		0	42			-		2			大ばり3区画
		77 (I) 78 (I)		0	-		-		19.5 13.3	19.5 13.3			_	2			0	0		_				9.5 3.3			=	2	1		
1F	Ľ	70 1	0	_	- 1	-	—	—	21	- 33			_	1	0	1	0	_	—	_	—	—	21		- 1 -	_	-	1			
	Ľ	<sup>73</sup> 2		0	-	_			12	33				1	2	2		0	—	_	_	—	12				_	1	2	—	
		1		<u> </u>	<u> </u>	0	=		5.2	-				1	1	1 2		=	=	0		=	5.2		= =		=	-		1	
	ş	80 (3)		+ =	+ = -	0		_	21 34	87				1	5	3		+ =	=	0	_		21 34			-	_	1	2	2	
	ľ	4		0		_	-	—	11.5				-	1		4	—	0	—	_	-	—	11.5		-   -		-	1			
	L	5	-		0		_	_	15.3	L				1		5			0	—	_	_	15.3			_	_	-		1	
M2F	8	82 (1)	+ -	-	0		0	0	43	100	=   =		_	2	5	(1) (2)		_	0	_	0	0	43 57	100	= + =			3	3	1	
IVIZE		U)		0	-	-	U	0	57	I		3		্য		U U	—	0	—	_	0	0	57			্য		্য	L	_	

		壁 上の ◇ 感 数 を 取 4 4 m 4 m 4 m 4 m 4 月 し の	個数を、火ジ 23条第4項 知器は、廊T 、火災を有交 n未満 n未満 の以上~20r 複数区画の 和 次区画 和 の 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の で 、 の 、 の 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の て の 、 の つ 、 の つ 、 の の 、 の の の の し し ~ 200 の の の し し ~ 200 の の の し し ~ の の の の し し ~ の の の し し ~ の の の し し ~ の の の し の の の の の し の の の の の の の の の の の の の	から0.6m以 総に有効感発 七 ホ 、通路、階 加に感知する m未満	ロするよう設け	ける。 路を除く感知		防法														熱感								炎感知器	備考
		壁 上の ◇ 感 数 を 取 4 4 m 4 m 4 m 4 m 4 月 し の	又は取付本 (個数を、火約 (23条第4項 (知数を、第4項 (知ま) (133 (145) (145 (145 (145 (145 (145) (145 (145) (145 (145) (145 (145) (145) (145 (145)	から0.6m以 総に有効感発 七 ホ 、通路、階 加に感知する m未満	ロするよう設に 没及び傾斜路 しように設ける 床面積	ける。 路を除く感知															消 『	防法游	瓶 行	規則						消防法施行規則	
		4m 小[ の感 ◇第 る。	すことができ 付面高さ n以上~8m 区画が隣接し 知区域とす 23条第4項 知器は、廊T	10.6m以上 る。 未満 している場合 ることができ してへ(i 下及び通路に	75㎡ のないものに 自動火災報鉄 :1m未満でリ 床面積 60㎡ る。 通路、階段及	<sub>責</sub> は、はり高 は、はり高 し 取 数 広 域 が の 、 6 で 、 な で し 、 で し 、 は 、 は し し の で 、 、 は 、 し 、 、 備 工 事 か 、 、 、 、 備 工 事 か 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	さ1m以上と 写基準書 が連続する場 im以上1m3 ) mにつき1個	こする。 場合、取付面 未満で区画さ 固以上の個数	種別及び取 高さに応じ された10mi	収付け面の? た範囲の隣 『以下の小区	び取付け面の高。 高さに応じて次の 接する感知区域 区画が1つ隣接し にあっては垂直距	表で定める を当該部分 ている場合	る床面積につ かを含めて1 は、当該部	つき1個以 つの感知 分を含め	.上の個 区域と て1つ	<ul> <li>壁(山)</li> <li>車(山)</li> <li>単(山)</li> <li>単(山)</li> <li>単(山)</li> <li>(中)</li> <li>((h)</li> <li>((h)<td>以面高 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、</td><td>xib0.4m以 を、 、 が高 い で い る な に の で い る で 、 火 災 () 、 、 、 次 、 、 次 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>有効感知する 床面積( 35m(( のないものは 自動火災報報工 m未満で火災 、はり等の深</td><td>5よう設ける 特種) 特種 (設備工事者 (認知) ながの、4m )設備工事者 (認知) ながの、4m )設備工事者 (認知)</td><td>って区画され つ 1 m 以上と <u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u></td><td>れた部分ごと する。 、隣接する 、 、 隣接する 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td><u>-</u></td><td>器の種別2 該当部分 以下の小区</td><td>を含め15 【画が1つ </td><td>㎡以内であオ 隣接している</td><td>こて次の表で気 れば1つの感気 場合は、当該 ける。</td><td>口器区域と</td><td>と見なす</td><td>消防法施行規則 消防法施行規則 消防法施行規則 に準拠して感知器 を 数間にお足する。 *置いに設置の部屋番号に いて認知意味に設 にの設定しな感知器したで にの感知を記載していの感見知 にのの感知器を をついの感知器を をついの感知 に他の部と 相合せの に他の部と組 合の の感知 部と 相合 に感 気 の の の の 気 の に 知 部 を 者 号 る る 場 合 の 思 知 部 と 和 部 を 者 号 る る 場 の に 知 部 を 者 号 の る 場 の に 知 部 と で の の に い の の に 部 を 者 号 い の に 部 と 者 号 の の に い の の に 部 と で の の に 部 と で の の に い の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td></td></li></ul>	以面高 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、	xib0.4m以 を、 、 が高 い で い る な に の で い る で 、 火 災 () 、 、 、 次 、 、 次 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	有効感知する 床面積( 35m(( のないものは 自動火災報報工 m未満で火災 、はり等の深	5よう設ける 特種) 特種 (設備工事者 (認知) ながの、4m )設備工事者 (認知) ながの、4m )設備工事者 (認知)	って区画され つ 1 m 以上と <u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u>	れた部分ごと する。 、隣接する 、 、 隣接する 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<u>-</u>	器の種別2 該当部分 以下の小区	を含め15 【画が1つ	㎡以内であオ 隣接している	こて次の表で気 れば1つの感気 場合は、当該 ける。	口器区域と	と見なす	消防法施行規則 消防法施行規則 消防法施行規則 に準拠して感知器 を 数間にお足する。 *置いに設置の部屋番号に いて認知意味に設 にの設定しな感知器したで にの感知を記載していの感見知 にのの感知器を をついの感知器を をついの感知 に他の部と 相合せの に他の部と組 合の の感知 部と 相合 に感 気 の の の の 気 の に 知 部 を 者 号 る る 場 合 の 思 知 部 と 和 部 を 者 号 る る 場 の に 知 部 を 者 号 の る 場 の に 知 部 と で の の に い の の に 部 を 者 号 い の に 部 と 者 号 の の に い の の に 部 と で の の に 部 と で の の に い の の の の の の の の の の の の の の の の	
火災区	区画	感知 区均	0		د عالی 100 ع خ			<b>停の高さ</b>	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) (1+n)	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知区域		高	5		はり等	の高さ	小区画 面積	総面積 <35㎡	(1+1) (	面積 1+n) 設置		設置数	合計	合計	
階 部	部屋番	弓	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	) (0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 	山伐	(75111	+10m <sup>2</sup> <60m <sup>2</sup>	以世双	Jed /TD			E-93	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	山伐	100111	+5m <	15㎡ <sup>設區:</sup>	~ 四円				
	- H	5 ① 6 ①	0			—	0	0	84.5	84.5		6	-	6	6	1	0	_	-	-	0	0	84.5	84.5		- 6	-	-	6	_	
		6 (1) 9 (1)	0		-		0	0	21.3 76	21.3 76		2		2	2	( <u>1</u> ) ( <u>1</u> )	0				0		21.3 76	21.3 76	-	<u> </u>	<u> </u>	2	2		
	Ŀ	10 ①	Ő	-	—	—	0	0	164.4	164.4		4	-	4	4	1	0	-	- 1	-	Õ	Õ	164.4	164.4	-	- 4	-	4		_	
		11 ①		0	—	—	0	0	143	143		8	-	8	8	1	-	0	-	-	0	0	143	143		- 8		8			大ばり8区画
		12 ① 13 ①	0	+ =	-				31 18.7	31 18.7		1		1	1	( <u>1</u> )	0						31 18.7	31 18.7		<u>- 1</u> - 1	<u> </u>	1	1		
		14 ①	<u> </u>	0	_	—	-	-	22	22		3	-	3	3	1		0		-	_	-	22	22	-	- 3		-	3		大ばり2区画
M2F R-	-8-	15 ①	0	—	—	—	—	0	66	66		2	—	2	2	1	0	—		-	_	0	66	66	-	- 2		2	2	—	
	L L	16 ①	0	-	—	-	-	-	5.8	5.8		1	-	1	1	1	0	-	-	-	-	-	5.8	5.8	-	- 1	-	1		—	
		17 ① 19 ①	0	0			-	+ =	19.2 66	19.2 66		-	-	1	-	(1)	0	0	-	_	_	-	19.2 66	19.2 66		 - 1		1	-	2	煙感知器はR-9-25①と兼用
		<b>20</b> ①		0	_	_			34	34		1		1	1	1		0		_		_	34	34		- 2	+ -	2		_	
		21 ①	-	Õ	-	_	- 1	-	5.1	5.1		1	-	1	1	Ű	_	Õ	- 1	-	_	-	5.1	5.1	_	- 1		1	1	—	
		23 ①	—	0	—	—	—	0	7.4	7.4		2	—	2	2	1	—	0	-	-	—	0	7.4	7.4		- 2	—	2		—	
		24 ①	0	-	—	—	-	0	64	64		2	-	2	2	1	0	-	-	-	_	0	64	64	_	- 2			2		
		25 ① 26 ①	0	+ =	-		0	0	266 63.6	266 63.6		3		3	3	1	0				0	-	266 63.6	266 63.6	-	- 5 - 2		5			
		1		-	0	-	-	0	295	00.0		8	-	8	2	1	_	-	0	-	-	0	295	00.0	-			-	2		大ばり4区画
		1 2	-	-	0	—	-	0	391	734		14	—	14	24	2	—	—	0	-	—	0	391	734			_	-	2	17	
		3	0	0	-		=	0	33 15	-		1		1		3 (4)	0	0		_		0	33 15			<u>- 1</u>		1	-		
	ŀ	5 ①	0		0		+ =	0	15	19		2		2	2	(1)	_		0			0	15	19					-		大ばり2区画
	t	8 ①	—	-	Ő	—	—	0	38.8	38.8		4	-	4	4	1	—	—	Õ	-	—	0	38.8	38.8	-			—		2	
		13 ①		-	0	—		0	50	50		4	—	4	4	1	_	-	0	-	_	0	50	50				-	-		大ばり4区画
2F	⊦	14 ①	0		-				15 15	15 15		1		1	1	1	0		-	_	_	_	15 15	15 15		- 1 - 1		1	1		
	ŀ	10 ①		-	0	_	0	-	17			1		1	,	1	_	_	0	_	0	_	17					<u> </u>		1	
	L	16 2	—	0	_	—	0	—	73	90		3	-	3	4	2	—	0	-	-	0	—	73	90		- 4		4	4	—	
		10	-	0	_	—	0	0	17			—	-	_	10	1	-	0	_	-	0	0	17		_	- 1	_	1	- · -		煙感知器はR-9-19②と兼用
		19 2	+ =	0	0		0	0	622 55	694		14		14 2	16	2 3		0	0		0	0	622 55	694		<u> </u>		3	4		大ばり7区画 大ばり2区画・中ばり3区画
	╷┠	20 ①		0	_			0	33	33		2		2	2	(1)		0	-	_		0	33	33		— <u>3</u> — 2		2	2		入は92区画・中は93区画 大ばり2区画
R-	₹-9-	1	—	<u> </u>	0	—	0	0	557			28	—	28	-	1	_	-	0	-	0	0	557					-			大ばり12区画
		2	0			—	0	0	107	]		-	_			2	0	_	_	-	0	0	107	ļ		- 3		3	]		大ばり4区画 煙感知器はR-9-22①と兼用
M2F		3 (4)	0	-	-		0	0	331	-		3	=	3		3 (4)	0	0		_	0	0	331			<u> </u>	_	12	4		大ばり12区画
		22 (5)		0			0	0	40 21.6	1165.6		1	-	1	36	(5)	_	0	-	_	0	0	40 21.6	1165.6		<u> </u>		2	25		
2F		6	-	0	- 1	—	Ö	0	58.3	1		1	—	1		6	_	0	- 1	-	Õ	0	58.3	ľ		- 2		2	1		
M2F		7		0	—	_	0	0	35.7	4		_	-	_		7	-	0	-	-	0	0	35.7	ĺ	_	- 3		3	1		煙感知器はR-9-22①と兼用
	ŀ	8 23 ①		-	-		0	0	15 12.3	12.3		1		1	1	8 1	0	0	-	_	0	0	15 12.3	12.3		<u> </u>		1	1		
		23 () 24 (1)		0			+	+	7.8	7.8		1	=	1	1	1		0		_			7.8	7.8		- 1		1			
	L L	25 1	—	0	—	—	-	—	25	- 30		1	—	1	2	Ĩ	—	0	-	-	—	—	25	30		- 1		1	2		
2F	Ļ	20 2	_		—	—	-	-	5	30		1	—	1	2	2	0	_	-	-	_		5	00		- 1		1	-	-	
		26 1	0	0	-				20.8 2.8	23.6		1	=	1	1	(1) (2)	0	0					20.8 2.8	23.6		<u> </u>		1	1		煙感知器、熱感知器はR-9-26①と兼用
	ŀ	27 ①		0			0	0	67	67		2		2	2	ĕ		0		_	0	0	2.8	67		<u> </u>		4	4		たばり3区画

							>===	对家: 佣 煙 感	知 器		• >1.		21. 10	,									熱感	知 器								炎感知器	備考
$ \rangle$							消	防法	施行	規則												消	防法が	も 行	規則							消防法施行規則	7月 万
		壁 上の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	図 23器(1) 23器(1) 24部(1) 24部(1) 24:10 25:10	から0.6m以知         いこの         して、通路知する         ホよりに感知する         ホより         読むにつ         自いの         たいの         たいの	するよう設 及び(観台 なよう)に設価和 150m 75m 75m 150m 150m 150m 150m 150m 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ける。 客を除く感 5.5 5.5 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1	<ul> <li>つて区画さ</li> <li>コロ区域ごとに</li> <li>き1m以上と</li> <li>基準書</li> <li>連続する場</li> <li>m以上1m3</li> <li>)</li> </ul>	れた部分ごと	とに、感知器 種別及び取 高さに応じれ	器の種別及 な付け面の た範囲の障 以下の小I	高さに応 弊接する 感 画が1-	ごじて次の 惑知区域 つ隣接し・	表で定める を当該部分 ている場合	床面積につ を含めて1 は、当該部	つき1個以 つの感知 分を含め	以上の個 11区域と 20て1つ	壁1 取 m la を を 2 個付 ラ μ を 4 m μ 複 本 い 5 小 感 日細短 5 一 の ◆細短	以面高満 大上へ8mi 大上へ8mi 大上へ8mi 大上へ8mi 大手で画区 災深まのる。 転した が域と 数知が が 気 、 火 の に の の に 、 、 、 、 で の の に 、 、 、 、 で の の の の 、 、 、 、 、 の の の の の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	NGO.4m以に なを、火災に 未満 まり高さにO 4以上1 の4以上1 、ている場合き 機力場合 の細長い居 の の細長い居	有効感知す 床面積 700m 35m のないもの 自動火災報報: 、はり等のう る。 自動火災報 言 室等に定温	るよう設ける (特種) (特種) は、はり高さ 知設低域が連 突さが0.4n 知設備工事:	って区画さ 5。	れた部分ごと :する。	とに、感知 感知区域る	器の種別。 	♪を含め1 区画が1つ	5㎡以内7 D隣接して	であればいる場合	1つの感知 は、当該音	器区域と	<u>-</u> 見なす	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感が記載とれている同じ部屋番号 に設置効が記載とれている同じが記載屋番 れている煙感知器 又は熟感知器が、 炎感知器と組合 て設置する感知器	
	,	↓ ↓ 上記に	こ記載のない	い消防法施行	テ規則につい	いても準拠し	して感知器	を設置する。																									
火災	区画	感知		高	ę		はり等	痔の高さ	小区画	総面積		i 総面積	消防法	減数設置 適用	<u> 乳 </u> 米	스러	感知		高	ę		はり等	手の高さ	小区画	総面積		総面積	肖防法	減数設置	<u> 乳೪೪</u> 米	스 린	스킨	
階	部屋番号	区域	(~4m)	(4~8m)	(8 <b>~</b> 15m)	(15 <b>~</b> 20m)	) (0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 	面積	<75m <sup>2</sup>	(1+1) +10m <sup>2</sup>	(1+n) <60m	設置数	適用	設直剱	TA AT	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	面積	<35m <sup>2</sup>	(1+1) +5m <sup>°</sup>	(1+n) <15m <sup>2</sup>	设置数	適用	設直剱	合 計	合計	
		1	<u> </u>		0		0	0	139 33	-		=	3		3	-	1		-	0	_	0	0	139 33		-		- 1	_	1	-	4	大ばり3区画
	2	8 3	0	—	_	—	-	_	9.2	306.8	_	—	1	_	1	8	3	0	<u> </u>	-	—	-		9.2	306.8	—	-	1	_	1	9		
		(4)	-	0			<u> </u>		16.8 108.8	-	+=	-	1		1	-	<u>(4)</u>		0	-			-	16.8 108.8		_	-	1		1	-		
2F	2		<u> </u>	0	—	—	0	0	149	149	- 1	—	7	_	7	7	1	_	0	—	—	-	-	149	149	—	_	7	_	7	7	_	大ばり7区画
ZF	3	- <u> </u>	-	0		—	0	0	28	28			2	—	2	2	1	—	0	-		0	0	28	28		-	2	—	2	2	—	大ばり2区画
	3	3 (1)	<u> </u>	0			-	0	28 183	28	+=	-	1 9		1	1	1		0		_		-	28 183	28	_	-	1 15	_	1 15	1		大ばり9区画
	3	4 2	0	_	_	—	0	0	97	280	-		-	_		9	2	0	_	—	- 1	0	0	97	280	_	- 1		_		15		欠感936回 煙感知器、熱感知器はR-9-34①と兼用
	3	5 ①	—	0	—	—	—	—	6.4	6.4	1 -	—	1	—	1	1	1	—	0	—	—	—	—	6.4	6.4	—	-	1	_	1	1	—	
M2F	3	6 1		0	0			0	24.9 40	64.9	+-	-	1		1	1	1		0	0	_		0	24.9 40	64.9	_	_	2		2	2		煙感知器はR-9-36①と兼用
IVIZE	3	C)	<u> </u>	0			+	0	40	15	+=	+ =			+=-	-	1		0				0	40	15			_			-		煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用
	3		—	0	—	—	-	0	19	19	—	—	-	_	—	—	1	—	0	—	—	-	0	19	19	—	-	—	_	—	—		煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用
	3	ĕ	-	_	0	—		0	50	50	-		2	-	2	2	1		_	0		-	0	50	50	_	_	-	-	—	-		大ばり2区画
	R-9- 4	0 (1)	<u> </u>	0	0			0	20 14	34	+-	=			=	-			0		_		0	20 14	34	-	-	1		1	2	5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
1 1'		. ①	- 1	0		_	0	_	25		-	- 1	-	_	- 1		1	_	0	_	_	0	_	25		_	_	2	_	2		4	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
	4	4 2	—	—	0	—	0	—	13	38	_	—	—	_	—		2	_	—	0	—	0	—	13	38	—	-	1	_	1	3	2	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
	4	5 1	<u> </u>	0	_	_		-	22	43		-	-	-	-	-	1	_	0	-		-	-	22	43	_	_	1	-	1	2	5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
	4	7 ①			0		-		21 70	70		+ =	1		1	1			-	0	_	0		21 70	70	_	-	3		1	3	3	<u> </u>
2F	E F	1	—	0	—	—	Ő	0	160		-	1 —	9	_	9		Ű	—	Õ	—	- 1	Ő	0	160		—	- 1	9	_	9	Ť	_	大ばり10区画
21	5	5 2	0			_	0	0	79.4 35.6	275			4	-	4	13	2	0		-		0	0	79.4	275			4	-	4	15		中ばり3区画
	5	9 1	0				0		35.6 62	62	+=	-	-		1	1	(1)	0	-		_	0	-	35.6 62	62	_	-	2		2	3		煙感知器はR-9-55①と兼用
	6	1	—	0	—	—		—	9.3	32.3	-		— —	_	—	1	Ű	—	Õ	—	- 1	_	—	9.3	32.3	—	- 1	_	_		1	_	煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
	0	2	0	_	_	—			23	32.3		-	1	—	1	· ·	2	0	_	—		—		23	32.3	_	_	1	—	1	<u>'</u>	_	
	6	2 (1)	0	0					9.3 23	32.3	+-	-	1		1	1	1	0	0		_	<u> </u>		9.3 23	32.3	_	-+	1	_	1	1		煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
	6			—	0	—	- 1	0	50	50	-		1	_	1	1	Ũ	<u> </u>	—	0	_	-	0	50	50	_		-	_	<u> </u>	-		
		1		0	_	—	0	_	165			_	9	—	9		1	_	0	—		0	0	165		_	-	13	—	13			
	6	4 2			_		0	0	41 87	293			=		=	9	2	0		-	_	0	0	41 87	293	_	-	-	_	=	13		煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用 煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用
		(1)		0			0	_	87	4.0	+=	-	7		7		(1)		0			0	0	87	107.1	_		7		7	-		産地の中市の旅行のと中市にのパージー04000株円
	2	2	- 1	<u> </u>	0	—	Õ	0	33.6	185.1	-	-	1	_	1	8	2	_	-	0	—	Õ	0	33.6	185.1	—	- 1	-	_	—	7		熱感知器はR-10-2①と兼用
M3F R				0	_			00	109	109			3			3	<u> </u>		0			_	00	109	109	_	_	4		-	4		
			0		0			0	14.8 37	14.8 37	+=		2		2	-		0		0			0	14.8 37	14.8 37	_	-	2	_	2	2		
		1	- 1	-		0	-	-	1952	1952		-	36	_		36	<u> </u>	-	-	<u> </u>	0	—	-	1952	1952	—	-	_	_		-	31	
	2	2 ①		0	_	—	-		84.5	84.5			2	—		2	<u> </u>	_	0	-		—	-	84.5	84.5		-	3	—		3	_	
3F R	8-11-		0	0			<u> </u>		49.2 20	69.2	+-	=	2		2	3	1	0	-		_			49.2 20	69.2	_	-	2	_	2	3		
		I (1)		_	_	—	-	-	17.9	17.9	- 1		1	_	1	1	- X	0	_	—	—	_	-	17.9	17.9	—	-	1	_	1	1	_	
			-	_	_	—	-		13.2	13.2			1	—	1	1	× ×	0	_	—		-	—	13.2	13.2	_	- 1	1	—	1			
$\vdash$				0					26.2 71.1	26.2 71.1	╞═		1		1	1	1		0					26.2 71.1	26.2 71.1	_	-	1	_	1	-		
M4F R				0	_	_		_	15.3	15.3			1	_	1	1	<u> </u>	_	0	_		-	-	15.3	15.3	_	-	1		1			
WI4F R				—		—			19.6		-			_		1	<u> </u>	0	-	—		-		19.6	19.6	_		1	—		1		
	4	1	0	—	-	—	-	—	17.4	17.4	—	-	1	_	1	1	1	0	—	-	—	-	-	17.4	1/.4	—	-	1	_	1	1	—	

Ν								煙感	知 器	ł													熱感	知 器							炎感知器	備老
							消	防法	施行	規則												消 【	方法 カ	钣 行	規則						消防法施行規則	ביי מוע
$  \rangle$		壁Σ		三 ロ から0.6m以上 どに有効感知す							び取付け	面の高さ	に応じて履	感知器床面	積につき	1個以	· 壁又 き1個		いら0.4mb		るよう設ける	って区画され				及び取付面の	の高さに	応じて次の表て	定める床	面積につ	消防法施行規則	
		感失 数を、 取付 4m 4m * 社	、火災を有効 対面高さ か未満 か以上~20r 複数区画の1 本火災報知	、 通路、階段及 加に感知するよう m未満 より高さに〇のな 機工業会 自動	うに設ける 床面積 150m 75m ないものに あ火災報知	り。 う は、はり高さ 口設備工事業	:1m以上と 基準書	する。									4mラ 4m以 *複 ◆日本 はり <sup>4</sup> ことが	未満 以上~8mま 数区画のは 本火災報知 等の深さが できる。 画が隣接し	はり高さにO 機工業会 E O. 4以上1 いている場合	70m 35m のないもの 自動火災報 m未満で火 、はり等の	(特種) (特種) は、はり高さ 知設備工事ま 災区域が連続	基準書 続する場合	、隣接する					あれば1つの感 へる場合は、当き			炎感知器と組合せ て設置する感知器 のである。なお、一部	
		見な <sup>5</sup> 取作 4m の感: ◇第: る。	すことができ 対面高さ か以上~8m 区画が隣接し 知区域とす 23条第4項 印器は、廊下		床面積 60㎡ より等の深 、階段及 っては歩行	そさが0. 6n び傾斜路) 5距離30m	n以上1mオ nにつき1個	⊧満で区画さ ■以上の個数	<i>れた</i> 10㎡	『以下の小臣	⊠画が1つ	の隣接して	いる場合	は、当該部	分を含め	て1つ	◆日本 細長 短辺	×火災報知 い居室等の が3m未満	)場合 の細長い居	自動火災報告 室等に定温	知設備工事碁 晶式スポット雪 いても準拠し	型感知器(特		る場合は、	歩行距離	13mにつき	1個以上	設ける。			について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組 合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。	
火	災区画	感知	1	高	5		はり等	の高さ	小区画	総面積		総面積	消防法	減数設置	設置数	스러	感知		高	さ		はり等	の高さ	小区画	秘出惧	総面積 総 (1+1) (1	、 泪	i防法 減数設	置,要	数合計	니스러	
階	部屋番	号区域	ί~4m)		3 <b>~</b> 15m)	(15 <b>~</b> 20m)		(0.6m <x &lt;1m)</x 	面積	<75m <sup>2</sup>	+10m <sup>2</sup>	<60m	設置数	適用	設直剱	'E' AT	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	面積	<35m <sup>°</sup>	+5m <sup>°</sup> <1	-n) <sub>≞л</sub>	(置数 適用	設直到		+ 合計	
		1		0	-	_	-	-	9.4	9.4	-	_	1	_	1		$\square$	_	0	-	_	_	—	9.4	9.4		-	1 -	1	4		
		6 2	+	-	_	0			6.7 25.8	6.7 25.8	-	_	2		2	7	$\vdash$		_	-	0			6.7 25.8	6.7 25.8			3 —	3	•		
			+ =	0	_	_			25.8	25.8			2		2		$\vdash$				0		_	25.8	25.8 5.0			3 -	2	9		
		5			_	_	-	_	33.6	33.6	<u> </u>	_	1	_	1		$\vdash$	0	- 1			_	_	33.6	33.6		- 1-	1 —	1	-	_	
	1 1	1	<u> </u>	0	_	_	-	_	5.9	5.9		_	1	-	1				0	-	_	_	_	5.9	5.9			1 -	1			
		2	- 1	<u> </u>	_	0	-	_	4.2	4.2	1 - 1	_	2	_	2			-	_	—	0	_	_	4.2	4.2			3 —	3	-	_	
		3	-	0	_	_	-	—	25.8	25.8	- 1	_	1	-	1			_	0	_		_	_	25.8	25.8			1 -	1	-	_	
		7 (4)	- 1		-	_	_	—	3.2	3.2	- 1	_	2	-	2	8		_	_	—	0	_	_	3.2	3.2			3 —	3	10	_	
トレンチ	Y-1-	5	0		_	_	-	—	5.9	5.9	- 1	—	1	-	1			0	-	—	_	_	—	5.9	5.9		-	1 -	1		-	
1027			1 .		_ 1	_	-	—	11.6	11.6	- 1	—	1	-	1			0	-	—	-	_	—	11.6	11.6		-	1 —	1		-	
1027		6	0							1	- 1	_	2	_	2			Ō	-	—	-	_	—	144.0	144.0		-   -	5 -	5		_	細長い居室等を適用
1007		6 1			-	-	—	—	144.0	144.0	_		2										•					5	5			加及の治主守を巡加
1007		6 1 2	Ő	+	-	-		-	144.0 20.4	20.4	-	_	1	—	1			—	0	—	—	_	_	20.4	20.4			1 -	5	-	_	胸及い伯王守と巡川
1007			Ő	_					11110	11110			-		1		$\square$		0	=	 0			20.4 8.1	20.4 8.1		-	ů				三日に見られている。
100)			0 — —		-	_	—	—	20.4	20.4	—	—	1			13			<u> </u>							_ ·	-	1 —	1	21	_	1111111111111111111111111111111111111
		2	0  		-	0		-	20.4 8.1	20.4 8.1	-	-	1	—	2	13		—		—	0	—	—	8.1	8.1		E	1 — 3 —	1	3	—	加及"石王寺之应"
1007		2 3 8 4	0  		- - -	0		- - -	20.4 8.1 25.8	20.4 8.1 25.8		  	1 2 1	-	2	13			 	-	0 —		—	8.1 25.8	8.1 25.8	 	-	1 — 3 — 1 —	1 3 1	3	 	細長い居室等を適用

	煙感知器	炎感知器	備 考
	液         防         法         施         行         規         則            第         防         法         施         行         規         則         消         防         法         施         行         規         則         消         防         法         施         行         規         則         ()	消防法施行規則 消防法施行規則 消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。 *炎感知器に設置 数が記載屋番号に 設置数が記載を番号に 設置数が記載を都客に ないる煙感知器又 に勃感知器と組合せて 設置する感知器でせて	備考
火災区画	Substrate Sector Se	計 合計	
階 部屋番号 MB1F T-1-27	$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	7	
B2F B1F T-3-13	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	 	
MB1F 1-3-13	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	—	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【タービン建屋】

## 消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【制御建屋】

Ν							煙感	知 器	2													熱感	知 器							炎感知器	備考
						消防	方法 施	も 行	規則								<u> </u>				消防	法 施	行	規則						消防法施行規則	רי מוע
		壁以 () 第感個 取 4n 4n 4n 4n 4n 1つ () 第 () () () () () () () () () ()	上 2 3 器は 2 2 3 器を、項下を 2 3 器を、項下を 3 器は、火さ 3 器は、火さ 3 器は、火さ 5 の 5 の 5 の 5 の 5 の 5 の 5 の 5 の	x50.6m以上突出し 火災に有効感知する 七ホ 、通路、階段及び傾斜 有効に感知するように 床面 150 未満 75r り高さに〇のないもの 戦工業会自動火災率 2.6m以上1m未満で できる。 床面	よう設ける。 斗路を除く感 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ホッて区画され 知区域ごとに さ1m以上と 事基準書 「連続する場 m以上1m者 )	れた部分ご れた部分ご こ、感知器の する。		品器の種 び取付け にた範囲 の㎡以下0	面の高さ ]の隣接す D小区画;	に応じて2 トる感知区 が1つ隣掛	欠の表で定 区域を当該 妾している	きめる床面積 部分を含め 場合は、当該	につき1 て1つの? 咳部分を?	個以上 感知区 含めて	壁き14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国以高高、 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	NG0.4m以数 表満 高さにO 豊い し、 4以 4以 4以 4以 4以 4以 4以 4以 4以 4以	に有効感知す 床面積 70㎡(年 35㎡(年 ののないものは 自動火災報知 m未満で火災	-るよう設( 寺種) 、はり高さ シ 設価工事連 さが0.4r 設備エポット 3 式 スポット 3	って区画され する。	した部分ごと する。 隣接する風 満で区画さ 殊)を設ける	た、感知 惑知区域 れた5m	を該当部 『以下の小	分を含め 区画が1 <sup>-</sup>	5㎡以I O隣接L	さに応じて次の表で 内であれば1つの感 ている場合は、当計 以上設ける。	知器区域	なと見な	消防法に感知 消防法にである。 * 数が記載量を 数が記載量を 数が記載量を 者号にない 素のに 数が記載量 なの一じ新記載器又 は熟知器を番号に 記載記載記載記載記載 のに 取知器するため、 ので 知るに たで 知るに たで 知るに たで 知るに たで 知るに たで た のの感 場合 は まで た の に た の に 数 た で し れ た 感 知 ま る た の に し た 感 知 ま る た の に し た で し た の に し た の に し た の に し た の に し た の に し た の に し れ た の に し れ た の に し れ た の に の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の の の の た の た の の の の の の に の む た の の の に の む た の の 和 た の れ う た で た の れ う た で た の の の の に の れ う た で た の の れ う た に の れ う た で た の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の た の の れ の れ の れ の れ の れ の れ の た 感 う し っ で の 約 し れ で の 和 書 た 感 知 ま れ の れ ま た 感 う れ 一 た の た 感 つ れ 本 う た 感 う れ 一 本 る に 一 か れ た 感 う れ ち 一 本 る の れ ま た 感 う れ ち っ た で の れ た の た の た の た の の 和 る に う た で の れ た た の た の た の れ た た の た の た の た の た の た の た の た の た た の れ た の れ た た の れ う た た の れ ま 本 二 か た た で の れ 日 た で う た た た た た た た た た の た た た た た た た た た た た た た	
		∖上記	に記載のない	▶消防法施行規則につ	ついても準拠	して感知器を	を設置する。			-																					
火災	泛区通	回咸午	,	高さ		はり等	痔の高さ	小区画	ī 総面積		総面積	治吐注	减粉起罢			咸加		高	さ		はり等	の高さ	小豆面	総面積	総面積 約	面積	治际注 试粉起罢				
階	部屋番	区域	(~4m)	(4~8m) (8~15m	n) (15 <b>~</b> 20m	n) (0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 	面積		(1+1)	(1+n) <60㎡	府防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4 <b>~</b> 8m)	(8~15m) (	15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	面積	<sup>菘</sup> 画傾 <35㎡	(1+1) +5m <sup>°</sup> <	1+n) 15m <sup>°</sup>	消防法 減数設置 設置数 適用	設置数	合 計	合計	
		1 1	-	0 – –			0	515.7 81.5	597.2		_	26 4	_	26 4	30	1	0	0	-	_	—	0	515.7 81.5	597.2	_	-	25 — 4 —	25 4	29		
		2 ①	-	0 —	—	—	Ō	105.5		—	—	5	—	5	5	1	_	0	—	_	—	0	105.5	105.5	-	-	5 —	5	5	—	
B2F	Ē	3 (1) 4 (1)	0					81.1 113.7	81.1 113.7	-	_	1	_	1	1	(1)	0		-	_	_	_	81.1 113.7	81.1 113.7	-	<del>-</del> +	2 —	2	2		
	Ē	5 Û	—	o —	-	- 1	0	387.4	1	-	—	24	-	24	29	1	_	0	- 1	_	-	0	387.4	506.8	-	-	24 —	24	29	_	
		° 2	0			-	0	119.4		-	—	5	-	5	29	2	0	_	—	—	—	0	119.4		—	-	5 —	5	29	_	
MB2F 階段室	C-1-	6 ① 7 ①		<u> </u>				23.9 17.6	23.9	-	-	2	_	2	2		_	0			-	_	23.9 17.6	23.9 17.6	-	-+	2 — 6 —	2	2		
PH7X I		8 1	-	0 —	-	- 1	—	26.2		—	—	2	_	2	2	Ű	_	0	—	_	—	_	26.2	26.2	-	- 1	2 —	2	2		細長い居室等を適用
MB2F		9	-	0 -	-	-	—	4.8	10.6		—	1	-	1	2	1	_	0	—	—	—	_	4.8	10.6	-	-	1 —	1	2		
	-	2 10 ①	0		+	+ =		5.8 33.1	33.1	-	_	1	_	1 3	3	2	0		-		-	_	5.8 33.1	33.1	-	-	1 —	1	3	—	細長い居室等を適用
	-	11 ①	- 1	<u> </u>	- 1	- 1	-	3.9	3.9	- 1	_	1	-	1	1	1	_	0		_	- 1	_	3.9	3.9	-	- 1	1 —	1	1		福茂の冶主寺を巡加
B2F		12 1	0		-	-	—	41.7	46.1	—	—	1	-	1	2	1	0	—	—	_	—	—	41.7	46.1	—	-	2 —	2	3		細長い居室等を適用
階段室	-	12 (1)	-	<u> </u>			-	4.4 19.5		=	-	1		1	2	2		0	-	_		_	4.4 19.5	19.5	_	-	1 — 5 —	1	5		
陷权主		13 (1) 1 (1)		0 -	+ -	+ -	0	222.7				9		3	3	1		0			-	0	222.7		-	-+	<u>    5                                </u>	5	5 9	_	
		2 ①	—	0 –	—	- 1	0	43.3		—	—	2	—	2	2	Ũ	_	Ō	—	—	—	0	43.3	43.3	-	- 1	2 —	2	2	—	
		3 ①		0 –	-	-	0		727.3	-	—	30		30	30	1	—	0	-	—	—	0		727.3	-	-	30 —	30	30	—	
B1F	É	4 (1) (1)	+	0 <u>–</u> 0 –	+	+ =	0	33 275.9		-	_	2 14	_	2 14	2	(1)		0	-		-	0	33 275.9	33	-	-	2 — 15 —	2 15	2		
DII		5 2			- 1	+ -	0	75	350.9	-	_	3	_	3	17	2	0	_		_		0	75	350.9	_	-	2 —	2	17	_	
		6	0		-	-	0	44.6		—	—	2	-	2	3	1	0	—	—	_	—	0	44.6	89.2	—	-	2 —	2	3	—	
	C-2-	0 2 7 ①						44.6	70.5			1	_	1		2	0	-		_	—	_	44.6	70.5	-	_	1 — 2 —	1	2		
MB1F		8 ①	-	0 -	+ -	+ -					_		_			<u> </u>		0		_		_			-			3	3		
		9 <u>1</u>	—	0 —	-							2				<u> </u>	_	0		—			19.8	19.8	—	—	2 —	2		—	
B1F		10 ① 12 ①							32.7		_	3			3	<u> </u>	0		-	_	-	_		32.7 6	-			3	3		細長い居室等を適用
		12 () 13 ()		0 -				-	-		_		_		1			0	_	_	_				-			2			細長い居室等を適用
MB1F		15 ①	0		—						—		—	3	3	<u> </u>	0	—	—	_	—	—	32.4	32.4	—	- [	3 —	3	3	—	細長い居室等を適用
		$\frac{1}{1}$		<u> </u>		+ =				-	-				1	1	0	0					16.9 526.6	16.9				1	1		
		2 2		0 -	+ =	+ = -	0		596.8	<u> </u>	-	3			10	2		0					70.2	5968		=+		3	13		
		3 ①	—	0 —	-	-	0	81.6	81.6	—	—	8	—	8	8	Ũ	_	0	-	—		0	81.6	81.6	-	- 1	8 —	8	8	—	
1F		7 ①		<u> </u>							—		_		2	<u> </u>		0	_	_				48.8	-			2	2		
		9 ① 11 ①		0 <u>–</u> 0 –		+ =			32.8		-	13			13 3	<u> </u>		0						291.9 32.8	-			13	13 3		
		14 ①	—	<u> </u>	—		—	95	95	—	—	1	-		1	<u> </u>	_	Ő		—		—	95	95	-		2 —	2		—	
		15 ①		0 –		-					-		-		1	<u> </u>	—	0	—	—	—			18.6	-			1	1	—	
		16 ① 19 ①	0	<u> </u>							-				2 18	-	0	0	-	_					-			2 18			
		20 ①	0								-		-		13	<u> </u>	0	-	-	_	—	0	254.4	254.4	—	—	13 —	13		—	
		21 ①										13		13	13	<u> </u>	0	—	—	—	—				-			13		—	
2F		22 (1) 23 (1)	0								-		-		4	( <u>1</u> ) ( <u>1</u> )	0		-						-			4	4		
		23 () 24 ()			-	-					—		_		17		0	_	- 1	_	—				-			17		_	
			0			-					—		-				0	—	-	—		—	27.5	27.5	—			1		—	
1F	ļ	26 (1) (1)	0	 0 -				8.5 18.4	8.5			1 2		1	1	1	0					_	8.5 18.4	8.5	-			1	1		
2F		27 2		0 –	-	- 1					—		_		4	2		0	-	_	—	_			-			1	4	_	
25		3	0		-		-	18.4		—	—	1	—	1		3	0	—	—	—	—	—	18.4		—	<u> </u>	1 —	1		-	

## 消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【制御建屋】

Ν								煙感	知 器	ł													熱感	3 器							炎感知器	備考
		入生	23条第4項				消防	5 法 游	も 行	規則							∧些へ	○友生₄т				消防	5 法 施	行規	則						消防法施行規則	
		壁以	スは取付面 た 23条は、 の個数を、 23条は、 の数を、 の数を、 の数 た 、 次 ジ を 、 の 数 を 、 の 変 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の 数 を 、 の の 数 を 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	NGO. 6m以 火災に有効 て、通路、階段 (有効に感知 の未満 なり高さにOU 機工業会 自 0. 6m以上	上突出したに 認知するよう みび傾斜路 するように積 市 50m 75m のないものは 10m 売 載 火 英 で ( 10m で ( 10m で ( 10m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 150m で ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m ) ( 10m) ) ( 10m ) ( 10m ) ( ) ) ( ) ) ( ) ) ( ) ) ) ( ) ) ) ( ) ) )	<ul> <li>う設ける。</li> <li>を除く感知</li> <li>さにる。</li> <li>こ、はり高さ</li> <li>設備工事</li> </ul>	ロ区域ごとに 51m以上と 基準書	こ、感知器の する。	D種別及び	『取付けず	面の高さ	に応じて次	マの表で定	こめる床面積	責につき	1個以上	壁 型 1 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	個面高 し し し し し し し し し し し し し	NGO. 4m以 数を、火災	に有効感知 床面積 70㎡( 35㎡() のないもの() 自動火災報失 m未満で火災 m未満で火災 たい(より等の) さる。	するよう設( 特種) (はり高さ (11) 設備工事 (2) 広域が連 (2) そが(2) 4r	+る。 51m以上と 基準書 続する場合 m以上1m寿	れた部分ごとけ する。 、隣接する感 も満で区画され	知区域を該	当部分	を含め15n	パ以内であれ	ぃば1つの感	绕知器区域	或と見な	感知器と組合せて 設置する感知器で ある。なお、一部に ついて他の部屋番 号の感知器と組合	
		4m	†面高さ 以上~8m 、 面が隣接I		床面積 60㎡ 、はり等の深	さが0 6r	n 티 1 m코	+満で区画:	された10	umぱに下の	り小区画:	が1つ隣接	乱ている	場合は、当	該部分を	含めて	細長	い居室等の	)場合	自動火災報知 計室等に定温			寺殊)を設ける	場合は、歩	行距離	13mにつき	1個以上設	ける。			せる場合があり, その場合の組合せ る感知器は備考欄 に記載した感知器	
				することがて		CN 0. 01			210/210			5 1 2 1 2 1 2				L 0, C	上記に	こ記載のない	い消防法施行	行規則につし	いても準拠し	て感知器を	を設置する。								となる。	
		設ける	口器は、廊下 る。	及び通路に	路、階段及び あっては歩行 テ規則につい	5距離30n				<b>设及び傾</b> 翁	斜路にあ	っては垂直	≦距離15r	mにつき1	固以上の	個数を																
	区画	i 感知 」区域			5	(15 00 )		手の高さ (0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 &lt;75㎡</td><td></td><td></td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td></td><td>高</td><td></td><td>(15 00 )</td><td></td><td>Fの高さ (0.4m<x< td=""><td>小区画 総ī 面積 &lt;3</td><td>11 (1</td><td>面積 総面積 +1) (1+n 5㎡ &lt;15m</td><td>) 消防法</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡			消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域		高		(15 00 )		Fの高さ (0.4m <x< td=""><td>小区画 総ī 面積 &lt;3</td><td>11 (1</td><td>面積 総面積 +1) (1+n 5㎡ &lt;15m</td><td>) 消防法</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 総ī 面積 <3	11 (1	面積 総面積 +1) (1+n 5㎡ <15m	) 消防法	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
階 1F	部屋番	5 ①	(~4m)	(4~8m) O	(8~15m) ( —	(15~20m) —	(0.6m>)	<1m)	15.6	15.6	+10m	<00m	2		2	2		(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	<1m)	15.6 1					2	2		
階段	C-3-23	30 ①	-	0	—	—	-	—	15.3	15.3	—	—	1	—	1	1	1	—	0	—	_	-	—				-	-	1	1	_	
	3	B1 ① B2 ①		0			<u> </u>	=	30.5 107	30.5 107	=	-	1		1	1	1		0	-		<u> </u>	_			= + =	1		1	1		
		33 ①	-	0	—	—	-	—	6.1	6.1	—	—	1	—	1	1	1	-	0	—	—	-	—	6.1 6	.1		-	—	1	1	—	
		(1) (2)	0	0	_	_	<u> </u>	<u> </u>	22.3 15	-			1		1		(1) (2)	0		-			_	22.3 15		= + =			1			
1F	3	34 3	-	—	0	-	-	-	18.4	63.5	-	-	1	_	1	4	3	-	_	0	_	-	—	18.4 6			-	-	-	3	1	
	3	(4) 36 (1)		0					7.8	14.6		-	1		1	1	( <u>4</u> )		0					7.8 14.6 1		= + =	1	+ =	1	1		
	~	37 ①	-	_	0	—	-	-	67.6	67.6	-	—	2	_	2	2	1	_	_	0	_	-					_	-	—	_	3	細長い居室等を適用
		38 ① 40 ①		0	_	_			20.4 92.4		-	-	2 3		2	2	1	0	<u> </u>	-		-	-			= + =			2	2		
		11 (1)	-	—	—	-	-	0	45.6		-	_	9	_	9	9	1	0	-	—	_	-	0					-	9	9	-	
2F		12 ① 13 ①	0	-	_	_	-	0	105 6.1	-	-	-	4	_	4	4	1	0		-	_	-	0 —			= =	-		4	4		
ZF		14 ①		—	—		—	—	6	6	-	-	1	_	1	1	1	0	-	—	_	—	—	-	_			-	1	1	—	
		15 ① 17 ①	0					=	13 22.8	13 22.8	=	-	2		1	1	(1) (1)	0	=				-		-	=+=		+ =	1	1	4 =	
		18 ①	0	—	—	_	—	-	22.7		—	—	2		2	2	1	0	—	—		—	—	22.7 2			-	-	2	2	—	
1F		50 ① 51 ①		0	_				-	20.6	-	-	1		1	1	(1) (1)	0	0	_			_	20.6 2	_	= + =			1	1	-	
2F	5	52 ①	0	—	—	_	—	-	6	6	—	—	1	_	1	1	(1)	0	-	—	_	—	-	6	6			-	1	1	—	
1F	5	53 <u>①</u>		0		_	<u> </u>	=	18.4 9.5	2/9			1		1	1	1		0	-			_	18.4 9.5 2	/ 9	= =			1	1		
3F	1	I Ū	0	—	—	_	-	—	1247.8	1247.8	—	—	11	—	11	11	Ĩ	0	—	—	_	-	_	1247.8 12	17.8		19	—	19	19	—	
RF	2	2 ① 3 ①	0	0			=	-		206.2 96.8		-	4		4	4	<u> </u>		=	-		<u> </u>		206.2 20 96.8 9		= =	4		4	4		
	4	1 1	—	0	-	_	-	-	29.2	29.2	—	—	1	-	1	1	1		0	—	—	—	—	29.2 2	9.2		1	—	1	1	—	
		5 ① 6 ①		00					-	22.7 32.5		-	2		2	2	<u> </u>		00	-				22.7 2 32.5 3			2		2	2		
3F	7	7 ①	0	_	_	_	_	-	5.8	5.8	—	—	1	_	1	1	Š	0	_	—	—	_	—	5.8 5			_		-	1	—	
	1	16 ①			_	_	-	_	44.7 4.2			-	1		1	2	① ②		-	-	-	-	_	44.7 4.2	89			-	1	2		
		(L)	0		—				4.Z	1			I		1		Ľ	U						4.Z							_	

Ν								煙感	知 器													熱	感知	器							炎感知器	備	考
11							消 防	i 法 施	行	±₿ ₿II												消防法	去 施 衫	- +8 FI							消防法施行規則	VH	с,
		壁: 個以	23条第4項 又は取付面か し上の個数を、	ら0.6m以 火災に有効							別及び取付	付け面の	高さに応じ	て感知器	末面積に	こつき1	壁又 つき1 取付	個以上の個 面高さ	。 から0. 4mb	に有効感知 床面積	するよう設け	って区画された部				付面の高	さに応じて	て次の表で	定める床	雨積に	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。		
	l.	感 の個 取 4n	523条第4項 知器は、廊下 割数を、火災を す面高さ n未満 n以上~20m	、通路、階段 有効に感知		とける。	回区域ごとに	、感知器の	種別及び	『取付け面	面の高さに	ニ応じて次	の表で定め	める床面積	責につき	1個以_	* 複 ◆日本	以上~8m 数区画の1 5火災報知	まり高さにO 機工業会	自動火災報知	時種) は、はり高さ コ設備工事業	1m以上とする。 基準書 続する場合、隣接		≤域を該当れ	部分を含め	b15㎡以	内であれ	ば1つの感	知器区域	或と見な	* 炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載され ている煙感知器又 は熱感知器が,炎		
		♦日	複数区画のは  本火災報知機 り等の深さが(	幾工業会 自	目動火災報知	口設備工事業	基準書		真なに広日	「た節囲の	の隣培す	ス咸知区	歯を当該到	『分を今ば	マークの	)咸知5	小区				きが0. 4n	n以上1m未満で	で区画された	5㎡以下の	小区画が	1つ隣接し	ている場	合は、当該	亥部分を	含めて1	感知器と組合せて 設置する感知器で ある。なお,一部に ついて他の部屋番		
		域と 取(	りまめ床されて 見なすことが 付面高さ n以上~8mオ	できる。	ホース (大) 床面積 60㎡		上がする場		同 <i>CIC/</i> 心(		J2  94] <b>X</b> 9	<i>о)</i> ка хи (Ф.	쓰신크잡히	р <u>1</u> 2 1 0.			◆日本 細長	×火災報知い居室等の	機工業会 日 の場合	自動火災報知			ナ =D. / L フ 1日					L <b>7</b>			号の感知器と組合 せる場合があり, その場合の組合せ		
			区画が隣接し の感知区域と			そさが0. 6m	n以上1m未	∈満で区画さ	れた10	㎡以下の	小区画か	「1つ隣接	している場	合は、当	該部分を	含めて						型感知器(特殊)る て感知器を設置		言は、歩行正	₽離13ml	こつき1値	以上設け	する。			る感知器は備考欄 に記載した感知器 となる。		
		   設け	523条第4項 知器は、廊下が る。 Bに記載のない	及び通路に	あっては歩行	亍距離30m			なを、階段	:及び傾余	4路にあっ	っては垂直	[距離15m	につき1個	固以上の	個数を																	
火災	医画	『感知	0	高	¢		はり等	の高さ	小区画	総面積	総面積 (1+1)	総面積 (1+n)	消防法  派	咸数設置	設置数		感知		高	ć		はり等の高	- 小区	画 総面積	総面積	(4.1.)	消防法	減数設置 適用	-11		合計		
階	部屋番	号区均	载 (~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 	面積	<75m <sup>2</sup>		(1+n) <60m <sup>2</sup>	設置数	適用	設直剱		区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15 <b>~</b> 20m)		.4m <x 面<br="">〔1m〕</x>	漬 <35㎡	(1+1) +5m <sup>2</sup>	(1+n) <15m <sup>2</sup>	設置数	適用	設直剱	TA AT	百計		
		1	—	0	_	-	0	0	292.35	—	—		28	18	10		1	-	0	-	-	-	O 292			-	28	0	28		_		
MB1F		1 2	0	-	-	-	0	0	23.88	—		329.78	4	3	1	12	2	0	-		-	-	0 23		-	_	4	0	4	36	_		
	-	3	0	_	_	-	0	0	13.55	_	_	107.54	4	3	1		(3)	0	-	-	-	-		55	-	-	4	0	4	10	—		
	ŀ	2 ①		0		_	0	0	107.51 13.55	13.55	_	107.51	13	9	4	4		0	0	_	_	-		.51 107.51 55 13.55	-		13	0	13	13			
B1F	ŀ	3 () 4 ()	-		_	_	_	_	13.55	13.55		_	1	0	1	1		0						55 13.55 33 10.33			1	0	1	1			
DIF	E_1_	4 () 5 (1)	Ű			_		_	13.55	13.55		_	1	0	1	1		0						55 13.55		_	1	0	1	1	_		
$\vdash$	E-1-	5 () 6 ()	-	0	_	_	_	_		35.37		_	3	2	1	1		0	0		_			37 35.37			3	0	3	3			
MB1F	ŀ	7	_	0	_	_	_	_	7.20	7 20	_	_	1	0	1	1		_	0	_	_			0 7.20		_	1	0	1	1	_		
	ŀ	/ () 8 (1)		0		_	_	_	23.58	7.20	_	_	2	1	1	1		_	0		_			58 23.58		_	2	0	2	2	_		
階段	ŀ	9 1			0	_	_	_	10.05	10.05	_	_	2	1	1	1		_		0	_			05 10.05		_	2	0	2	2	_		
	ŀ	10 ①		0	_	_	_	_	12.69	12.69	_	_	1	0	1	1	Ť	_	0	_	_			69 12.69		_	1	0	1	1	_		
			-	-			-	1			_	_	2	1	1	1	Ť	_	0		_			74 16.74	- 1	_	2	0		2	_		
MB1F	[	11 (1)		0	—		—	—	16.74	16.74											_		- 10	/4 10./4			2	0	2	2			

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急用電気品建屋】

Ν					値を小し			煙感															熱感	知 器							炎感知器	備考
\							消 防	方法 が	も 行	規則												消防	1 法 施	〔行  規  貝							消防法施行規則	加大
		壁以。	上 の 個 案 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (	からの、6m以 か、 い 、 、 、 も 、 、 、 た 右 、 満 さ こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	通路、階段及 こあっては歩き	こう設ける。 路を除く感知 路を除く感知 ないは、はり高さ 知設低域が 「 、はりの高さ ないのので 、はののので 、はののので 、はののので 、はのののので 、はのののので 、はのののので 、はのののので 、はののののので 、はののののののののののののののののののののののののののののののののののの	って区画さ ロ区域ごとに 51m以上と 基連続する場 n以上1m <sup>5</sup>	<ul> <li>れた部分ご</li> <li>こ、感知器の</li> <li>する。</li> <li>する。</li> <li>する。</li> <li>する。</li> <li>する。</li> <li>取付面</li> <li>未満で区画。</li> <li>取上の個数</li> </ul>	し とに、感失 D種別及て D 高さに応 された10 数を、階段	ロ器の種類 バ取付けす じた範囲 いパ以下の	面の高さに) の隣接する )小区画が	応じて次0 感知区域 1つ隣接し	の表で定 域を当該 っている <sup>は</sup>	∷める床面和 部分を含め 昜合は、当	責につき <sup>、</sup> つて1つの 該部分を	1個以上 0感知区 合めて	<ul> <li>堅き取った</li> <li>4 4 4</li> <li>4 4 4 4 4 4 4 4</li> <li>4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4</li></ul>	個面高 本 し な し さ 本 の で が ら で が 医 の で が に る の の た 、 の の の た 、 の の の た 、 の の の た 、 の の の う で 。 の の う の 、 の 、 の の う の 、 の 、 の の う の 、 の 、 の で が 、 の で が 成 深 た る の 。 の の う で が ぼ 、 次 深 た う の 、 の た の う の で が ば い 次 深 た の う の 、 の た い の た の う の 、 の た の う の 、 の の う で が ば い び 次 深 た う の 、 の い の た い の た の 、 い に の 、 い に の 、 い に の 、 い に の 、 い い に の 、 い に の い い に の 、 い に の 、 い い に の 、 い い に の い い の 、 い い い の 、 い い の 、 い い に の 、 い い の 、 い の 、 い の 、 い い の 、 い い の い の 、 い い い の の 、 い い い い い い い い の い い い の い い い の い の い い い い い の い い い い い い い い い い い い い	NらO. 4m以 ) 数を、火災 未満 たり高 業会 E 0. 4以上11 いている場合で 機工 よりる場合 で 機合 い 細長い居 の細長い居	に有効感知 床面積 70mm 35m( のないもの) 自動火災報報 、はり等のぷ きる。 自動火災報 言 室等に定温	するよう設 特種 特特種 し に し の 高 び の 、 4 間 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	って区画され する。	nた部分ごと する。 、隣接する! 、満で区画さ 特殊)を設け	とに、感知器の種	別及び取 部分を含 <i>。</i> 小区画が	め15㎡以 1つ隣接	.内であれ! している場	ば1つの感∶ 合は、当該	知器区均	成と見な	消焼型 満して 消焼型 満して で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
火災	泛区画				行規則につし さ	いても竿拠し	1	を設直する。 手の高さ		総面積		`面積 ೖ	当时注	减数設置			咸知		高	t		はり等	の高さ	小区画 総面積	総面積	総面積	消防注	減数設置				
階	部屋番	号区域		(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x &lt;1m)</x 		<sup>秘</sup> 面傾 <75㎡		1+n) <sup>개</sup> 60㎡ <sup>影</sup>	設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8 <b>~</b> 15m)	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	而積 る35m	(1+1) +5m <sup>2</sup>	(1+n) <15mื	府防运 設置数	適用	設置数	合 計	合計	
	1	1 1	-	0	—	-	-	0	316.8				17	8	9	9	1	—	0	<u> </u>	—	-	0	316.8 316.8	-	—	17	0	17	17		~
1	2	2 ①		0	_		<u> </u>	0	142.2 73.2			42.2 73.2	10	5	5	5	1		0				0	142.2 142.2 73.2 73.2	=	_	10	0	10	10 6		
	4	4 1	-	0	—	-	-	0		18.3			_	_	_	_	1	-	0	-	—	-	0	18.3 18.3	-	—	3	0	3	3	4	
	5	5 <u>1</u> 2		0	_		=	+ =-	15.7 4.7	20.4		=	2	0	2	2	1	_	0	=	_	=	_	15.7 4.7 20.4	-	_	2	0	2	2		煙感知器、熱感知器はKB-1-5①と兼用
B2F	6	3 (1)	0	0	_			0	4.7	-			13	8	5	5	1	<u> </u>	0		_		0	4.7		_	13	0	13	13		
1	KB-1-7	7 1		0	—	—	-	0	116			116	6	4	2	2	1	_	0	—	—	—	0	116 116	—	—	6	0	6	6	—	
			0	0		=	<u> </u>	0	47.9 8.8	-		47.9	5	3	2		<u>(1)</u> (2)	0	0				0	47.9 8.8	-	_	5	0	5	-		煙感知器、熱感知器はKB-1-8①と兼用
	8	3	<u> </u>	0	—	—	-	-	1.8	11.9	_	-	1	0	1	4	3	-	0	—	—	-	—	1.8 59.8	—	—	1	0	1	7	_	
			-	0				<u> </u>	1.3 11.8	_			1	0	1	2	( <u>4</u> )		0			-	_	1.3 11.8 11.8		—	1 5	0	1	5		
階段室	1	, () 10 ()		_	_	_		- 1	18.7			18.7	7	4	3	3	1	_	_	_	_	_	_	18.7 18.7	- 1	_	9	0	9	9		
B2F	1	11 ①	-	0	—	—		_		2.1		—	1	0	1	1	1	_	0	—	—	-	_	2.1 2.1	-	—	1	0	1	1		
	1	1 (1) 2 (1)	+ =	0			<u> </u>	0	649.6 97.4			97.4	36 8	18	18	18 4	1		0				0	649.6 649.6 97.4 97.4		_	36 8	0	36 8	36 8		
	3	3 ①	—	0	—	—	—	-	3.8	3.8	—	- [	1	0	1	1	1	—	0	—	—	-	—	3.8 3.8	-	—	1	0	1	1	—	
B1F		4 (1) 5 (1)		0	_				8.5 8	8.5 8		= -	1	0	1	1	1		0				_	8.5 8.5 8 8	=	_	1	0	1	1		
		5 ①	_	0	_	_		0	170	-			12	6	6	6	1	_	0	-	_	_	0	170 170	-	_	12	0	12	12		
		12 ① 13 ①		0					12 12			= -	1	0	1	1	1		0	-	_			12 12 12 12	-	—	1	0	1	1		
		14 ①		0		_			3.1			= -	1	0	1	1	1		0					3.1 3.1	-	_	1	0	1	1		
		1 1		0	—	—		0	117				8	4	4	4	<u> </u>		0	—	—	-	0	117 117	-	—	8	0	8	8		
		2 ① 3 ①		0				0	-	-	- 1 - 1		8 9	4 5	4	4	<u> </u>		0		_		0	143.3 143.3 168.6 168.6	-	-	8 9	0	8	8		
	4	4 ①	—	0	—	—	-	0	41	—	—	41	4	3	1	1	Ĩ	_	0	—	—	-	0	41 41	-	—	4	0	4	4	—	
		5 (1) 6 (1)	-	0		-	-	0				44 02.5	6 8	5 4	1	1			0	-	_		0	44 44 102.5 102.5	=	—	6 8	0	6 8	6 8		
1F		7 1		0		_		0		-			8	4	4	4	1		0	_			0	16.1 16.1	-	_	2	0	8			
		3 1		0	—	-		0		—			2	1	1	1	1	_	0	-	—	-	0	18.1 18.1	-	—	2	0	2	2	_	
		9 (1) 10 (1)		0			<u> </u>	0	16.2 50	-			2	1	1	1	1		0				0	16.2 16.2 50 50	-	_	2	0	2	2		
	1	11 ①	—	0	—	-		0		—		87.5	8	4	4	4	<u> </u>	_	0	—	—	-	0	87.5 87.5		—	8	0	8			
		12 ①		0	_			0		-	1		18	8	10	10	× ×		0		_		0	167.5 167.5	-	—	18	0	18	18	1	
4-	1	15 ① 16 ①	-	0				+ =		5.6 3.3	-		-	_	-	-	<u> </u>		0		_		_	5.6 5.6 3.3 3.3		-	1	0	1	1	1	
1F	КВ-3-	17 ①	—	0	—	—	-	_	5.3	5.3			1	0	1	1	<u> </u>	_	0	-	—	-	_	5.3 5.3	—	—	1	0	1	1	_	
				0				0		-	- 2 - 1		17 11	9 5	8	8	<u> </u>		0				0	264.9 264.9 192.6 192.6		—	17 11	0	17 11	17 11		
2F	KB-4-	2 ① 3 ①	-	0	-	-		-			_		—		_	-	<u> </u>		0	-	_	_	_	8.9 8.9	-		1	0			2	
1	4	4 ①	-	0	—	—	—	—	6.2	6.2	—	$-\top$	—	—	—	—	1	—	0	—	—	—	—	6.2 6.2	—	—	1	0	1	1	1	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急時対策建屋】

$\mathbf{\Lambda}$							煙感	知 器												表示	熱感	印器							炎感知器	備考
						消防	法 施	行	規則						A 55 -					消 防	法 施	行規	則						消防法施行規則	ני מזע
$  \rangle$		◇第23条第4項 3 壁又は取付面から 個以上の個数を、り	o. 6m以上			て区画され	ルた部分ごと	:に、感知	器の種別	削及び取付け面	の高さに応	じて感知器	床面積に	:つき1	壁又に つき1個	国以上の個	ら0.4m以	こ有効感知す		って区画された 「る。	た部分ごと	こ、感知器	の種別及	び取付面の	)高さに応じ	て次の表て	で定める床	、面積に	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。	
	N	◇第23条第4項 - 感知器は、廊下、 の個数を、火災を有 取付面高さ 4m未満 4m以上~20m寿 * 複数区画のはり	通路、階段及 効に感知す <満	るように設 床面積 150㎡ 75㎡	ける。			重別及び	取付け面	面の高さに応じて	て次の表で	定める床面	積につき <sup>.</sup>	1個以上	* 複数 ◆日本 はり等	満 し上~8m 肉区画のは 火災報知様	り高さに〇の 幾工業会 自	動火災報知	持種) 、はり高さ 設備工事者	1m以上とす。 基準書 続する場合、[		知区域を言	支当部分を	-含め15m	「以内であれ	ぃぱ1つの感	悠知器区域	或と見な	* 炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載され ている煙感知器又 は熟感知器と組合せて	
		◆日本火災報知機 はり等の深さが0. 域と見なすことがで 取付面高さ 4m以上~8m未;	6m以上1n きる。				合、取付面福	高さに応し	じた範囲(	の隣接する感知	コ区域を当言	該部分を含め	めて1つの		つの感 ◆日本 細長し	知区域とす 火災報知樹 い居室等の	ることができ 戦工業会 自 場合	きる。 目動火災報知	設備工事基	山以上1m未満 基準書 型感知器(特殊							該部分を1	含めて1	設置する感知器で ある。なお、一部に ついて他の部屋番 号の感知器と組合 せる場合があり、 その場合の組合せ る感知器は備者欄	
		小区画が隣接して 1つの感知区域とす	ることができ	る。		以上1m未	満で区画さ	れた10r	n゚以下の	小区画が1つ隊	锋接している	る場合は、当	該部分を	含めて						て感知器を討			. 1046			.,			に記載した感知器となる。	
		◆第23条第4項 - 感知器は、廊下及 設ける。	び通路にあ	っては歩行	f距離30ml			を、階段	及び傾翁	路にあっては	垂直距離1	5mにつき1	個以上の	個数を																
火災	区画	上記に記載のない	月防法施行为 高		(も準拠し	はり等の		小区画	総面積	総面積 総面積		減数設置		A -1	感知		高	ć		はり等の	)高さ	小区画総	和積 総配	面積 総面積	<sub>責</sub> 消防法	減数設置		A -1	A -1	
階	部屋番号	区域 (~4m)	(4~8m) (8	3 <b>~</b> 15m) (	(15 <b>~</b> 20m)	(0.6m>)	(0.6m≤x ≤1m)	 面積	<75m <sup>2</sup>	(1+1) (1+n) +10m <sup>2</sup> <60m <sup>2</sup>	三几 罕马 米片	適用	設置数	合 計	区域	(~4m)	(4 <b>~</b> 8m)	(8 <b>~</b> 15m) (	(15 <b>~</b> 20m)	(0.4m>)	(0.4m <x &lt;1m)</x 	面積《	単作 5m <sup>(1+</sup> +5	-1) (1+n) m <sup>°</sup> <15m	設置数	"適用 適用	設置数	合計	合計	
	1	1 O 2 O	_	_		_		60.3 3.5	63.8		2		2	3	1	0	-		_	_	_	60.3 3.5	3.8		5		5	6		細長い居室等を適用
	2	1 -	0	_	_	0	_		25.2		1	- 1	1	1	1 1		0	_	-	0	-	25.2 2	5.2 -		1	- 1	1	1	—	
	3	1 -	0	—	—	0	—	207.4	207.4		3	—	3	3	Ť	—	0	—	—	0	0	207.4 2	)7.4 –		9	-	9	9	—	中ばり5区画
	4	1 -	0	-	-	-	-	58.5	62		2	-	2	3	1		0	-	-	-	-	58.5	<sub>52</sub> –		5	-	5	6	_	細長い居室等を適用
	Y-7-	2 -	0	-	-	_	-	3.5			1	-	1		2	-	0	-	-	_	-	3.5	-		1		1	, in the second	-	
-	5		0	-	_	0	_	27.3 207.4	27.3 207.4		1	-	1	1		_	0		_	0	0	27.3 2	7.3 -		-		1	1		中ばり5区画
	8		0	_	_	0	_	15.3	15.3		ۍ 1		ى 1	1		_	0	_	_	0	0		5.3 -		9	<u> </u>	9	9		キはどいで回
	0		0	_	_	0	_	103.2	10.0		2		2		m i	_	0	_	_		0	103.2			6	+ -	6	6	_	中ばり6区画
	9	2 0	_	_	-	_	_	8.1	111.3		_	- 1	_	2	2	0	_	_	_	_	_	8.1	1.3 -		_	- 1	_	_	—	「「「」」」 「「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「
						0	_	96.9	96.9		2	- 1	2	2	Ō	_	0	_	_	_	0	96.9 9	6.9 -		7	- 1	7	7	-	中ばり7区画
	1	1 -	0	_	_	0		90.9	50.5																					
	Y-8- 2		0	-	_	0	_	96.9	96.9		2	—	2	2	1	—	0	-	—	-	0	96.9 9	6.9 -		7	-	7	7	—	中ばり7区画 中ばり7区画

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【地下タンク室】

枠囲
注1
注2
図面
1

:特記なき寸法はmmを示す。

:地下3階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下3階平面図

k
注
注

- 主1:特記なき寸法はmmを示す。
- 主2:中地下3階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階 エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下3階平面図

4	2
注	
注	2

注1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
注1:特記なき寸法はmmを示す。
注2:中地下2階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階 エリアに設置される感知器は除く。

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下2階平面図

図面名称

補3-9-別紙-1-原子炉建屋 配置図-4

杠
注
注
EV.

注1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

	杧
	注
	注
_	

注1:特記なき寸法はmmを示す。

注2:中地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階 エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下1階平面図

枠囲みの内容は耐
注1:特記なき寸法
注2:1階エリアに 部屋番号でま アに設置され
Pipe 19 C a アに設置され
図面名称 原子炉建屋
1 尿丁炉建度

商業機密の観点から公開できません。

法はmmを示す。

ニ設置される感知器のみを示し, 同一 あっても吹き抜けなどにより上階エリ れる感知器は除く。

原子炉建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

枠囲みの内容は商業機密の観点な
注1:特記なき寸法はmmを示す。
注2:中2階エリアに設置される感 同一部屋番号であっても吹き 上階エリアに設置される感知

主2:中2階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中2階平面図

杯	
注	
注	
1	

注1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:2階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 2階平面図

杯
注
注
133

- 注1:特記なき寸法はmmを示す。
- E2:中3階エリアに設置される感知器のみを示し, 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中3階平面図

杉
注
注

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:3階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 3階平面図

補3-9-別紙1-原子炉建屋 配置図-11

杉
注 <sup>,</sup>
注

注1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:中4階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより 上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中4階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下3階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下3階平面図

*	•
注1	
注2	

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:中地下3階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下3階平面図

	ł
注	
注	2

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

	ħ
注	
注	2

|:特記なき寸法はmmを示す。

2:中地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下2階平面図

	ł
注	
注	2

|:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

	ħ
注	
注	2

|:特記なき寸法はmmを示す。

2:中地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中地下1階平面図

	ħ
注	
注	2

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

	ŧ
注	
注	2

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:中2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中2階平面図

	ħ
注	
注	2

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 2階平面図

		枠囲みの内容は
		   注1:特記なき寸法
		注2:中3階エリア
		<u>一</u> 火災区画で アに設置され
		図面名称

商業機密の観点から公開できません。

去はmmを示す。

アに設置される感知器のみを示し、同 であっても吹き抜けなどにより上階エリ ぃる感知器は除く。

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中3階平面図

	ħ
注	
注	2

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:3階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 3階平面図

	ŧ
注	
注	2

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:中4階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

原子炉建屋 火災感知器の配置図 中4階平面図

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
注:特記なき寸法はmmを示す。
図面名称
「「「「「」」「「」」「「」」」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」」「「」」」「」」「」」「」」「」」「」」」「」」「」」」「」」「」」」「」」」「」」」「」」」「」」」「」」」」

原子炉建屋 火災感知器の配置図 断面図

ł	卆	囲
注	:	华
	X	庙
	原	Į-

特記なき寸法はmmを示す。

面名称

子炉建屋 火災感知器の配置図 断面図(2T-10トレンチ)

## 図面名称

注2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

タービン建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

注1:特記なき寸法はmmを示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ł	
注	
注	
	[

- 注1:特記なき寸法はmmを示す。
- 主2:中地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 中地下2階平面図

ħ	
注1	
注2	
٦ ا	

1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

枠囲みの内容は商業機密の観点7
注1:特記なき寸法はmmを示す。
注2:中地下1階エリアに設置され 一部屋番号であっても吹き アに設置される感知器は除
网西夕称

注2:中地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 中地下1階平面図

ł	
注	
注	
5	[

注1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

		木
	注	
	注	
Γ		

- 注1:特記なき寸法はmmを示す。
- È2:中地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 中地下2階平面図

柞	
注	
注	
	Г

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

Γ	ŧ
L	
	注
	注

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:中地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 中地下1階平面図

_			
	杧	ኪ ተ	井
注	Ξ	:	朱
_			
	ž	2 i	Ŕ
			,
			2

特記なき寸法はmmを示す。

面名称

タービン建屋 火災感知器の配置図 断面図

*	•
注1	
注2	

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

ħ	
注	
注	
5	

注1:特記なき寸法はmmを示す。

È2:1階・2階エリアに設置される感知器のみを示し、同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 1階・2階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:3階・R階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階 エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 3階・R階平面図

ŧ	
注1	
注2	
1	

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:1階・2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 1階・2階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:3階・R階エリアに設置される感知器のみを示し、 同一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階 エリアに設置される感知器は除く。

図面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 3階 R階平面図

	杯		井
注		: :	特
	义	Ē	1
			佳

特記なき寸法はmmを示す。

面名称

制御建屋 火災感知器の配置図 断面図

柞	[	
注		
注		
2	Γ	

注1:特記なき寸法はmmを示す。

注2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

ħ	
注	
注	
2	

注1:特記なき寸法はmmを示す。

注2:1階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

	木
注1	
注2	

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

ħ
注1
注2

- 1:特記なき寸法はmmを示す。
- 2:1階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

	Ł	ኪ ተ	ŧ
注	=	:	4
_			
	×	]	Ŕ
			E.V

特記なき寸法はmmを示す。

面名称

緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 断面図

	_	
ł		
	L	
注		
注		
	Г	

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

*	•
注1	
注2	

1:特記なき寸法はmmを示す。

2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

*	k
注1	
注2	

- |:特記なき寸法はmmを示す。
- 2:1階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

ŧ	
注1	
注2	
E	

- 1:特記なき寸法はmmを示す。
- 2:2階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 2階平面図

ŧ	
	_
注	
注	
/	
	ſ

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下2階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 地下2階平面図

ł	
注	
注	
	Г

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:地下1階エリアに設置される感知器のみを示し、同 一部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 地下1階平面図

ł	
注	
注	
	ſ

主1:特記なき寸法はmmを示す。

主2:1階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 1階平面図

*	•
注1	
注2	

l:特記なき寸法はmmを示す。

2:2階エリアに設置される感知器のみを示し、同一 部屋番号であっても吹き抜けなどにより上階エリ アに設置される感知器は除く。

図面名称

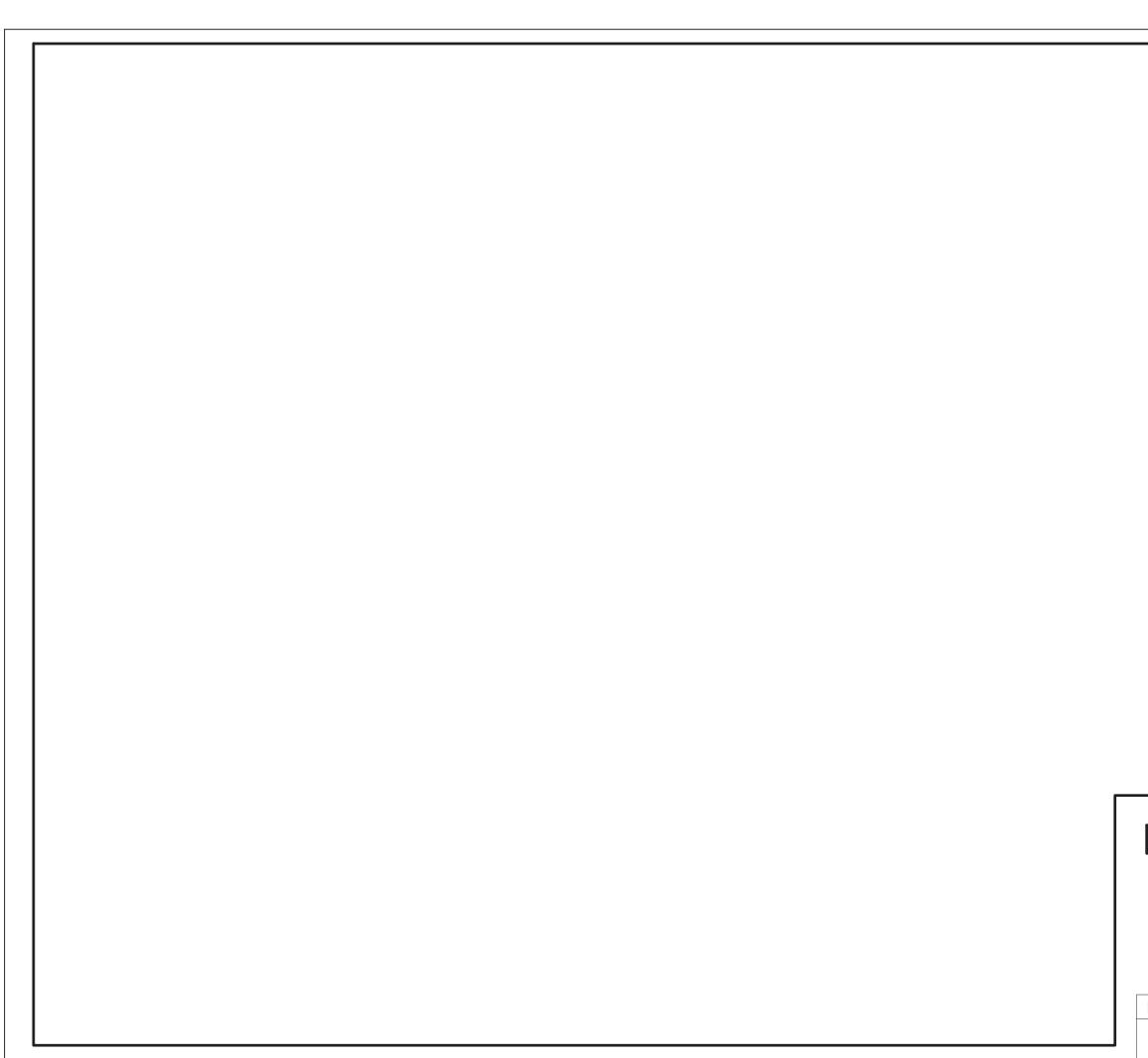
緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 2階平面図

	ł	ት ተ	ŧ
注		:	4
_			
	ž		Í
			E.V

特記なき寸法はmmを示す。

面名称

緊急時対策建屋 火災感知器の配置図 断面図

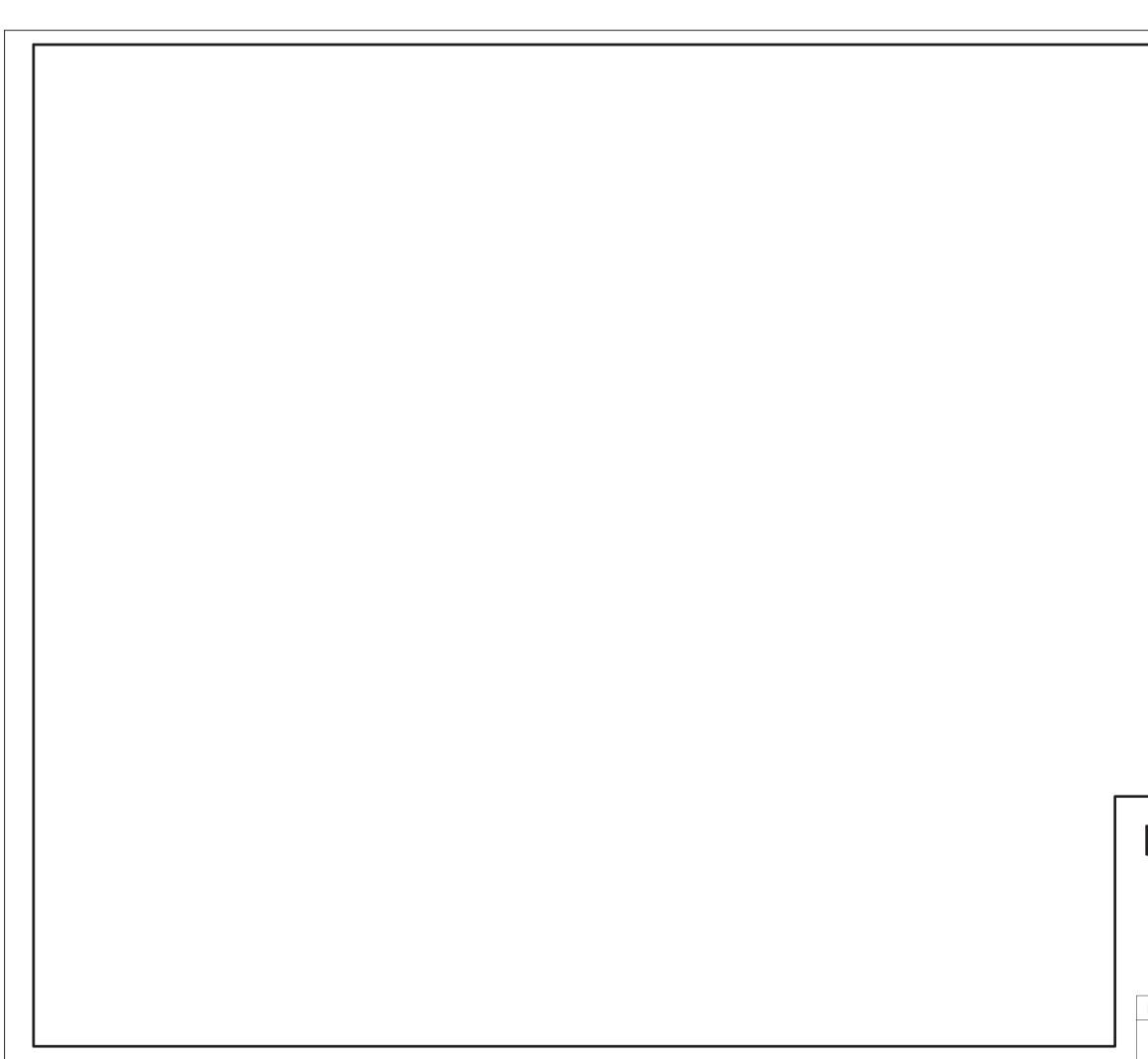


注:特記なき寸法はmを示す。

図書名称

軽油タンク室及び軽油タンク室(H) 火災感知器の配置図 平面図及び断面図

補3-9-別紙1-地下タンク室 配置図-1



注:特記なき寸法はmを示す。

図書名称

DGDO連絡配管トレンチ 火災感知器の配置図 平面図及び断面図

補3-9-別紙1-地下タンク室 配置図-2



注:特記なき寸法はmを示す。

図書名称

ガスタービン発電設備軽油タンク室 火災感知器の配置図 平面図及び断面図

補3-9-別紙1-地下タンク室 配置図-3

別紙 2

その他エリアの火災感知器の設置状況について

## 1. 屋外エリア

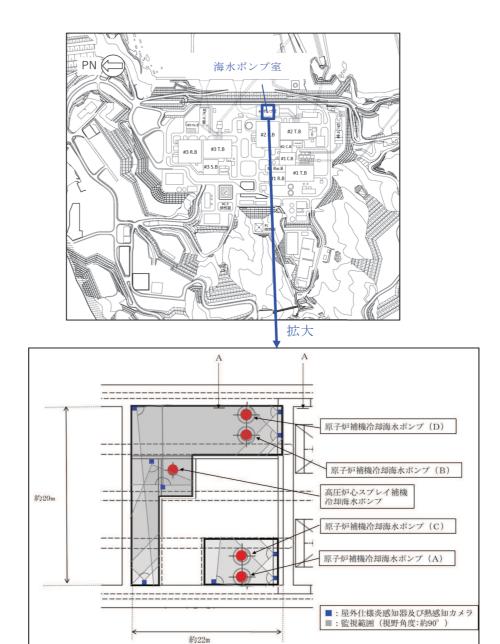
屋外に設置する屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラは,死角となる場所がないように設置する。屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様を表1に,各火災区画の設置個数を表2に示す。また,各火災区画の配置図を次頁に示す。

項目	屋外仕様炎感知器	熱感知カメラ			
検出方式	赤外線	赤外線			
監視範囲	60m 以内	60m 以内			
視野角度	約 90°	約 90°			

表1 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様

部屋番号 名称		屋外仕様炎感知器	熱感知カメラ設置個数			
		設置個数(個)	(個)			
Y-1-1	RSW ポンプ(A)(C)室	3	3			
Y-1-3	HPSW ポンプ室	4	4			
Y-1-4	RSW ポンプ(B)(D)室	3	3			
Y-8-4	ガスタービン発電設備燃	1	1			
	料移送ポンプエリア	1	Ţ			

表2 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの設置個数



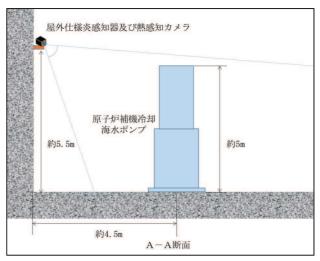
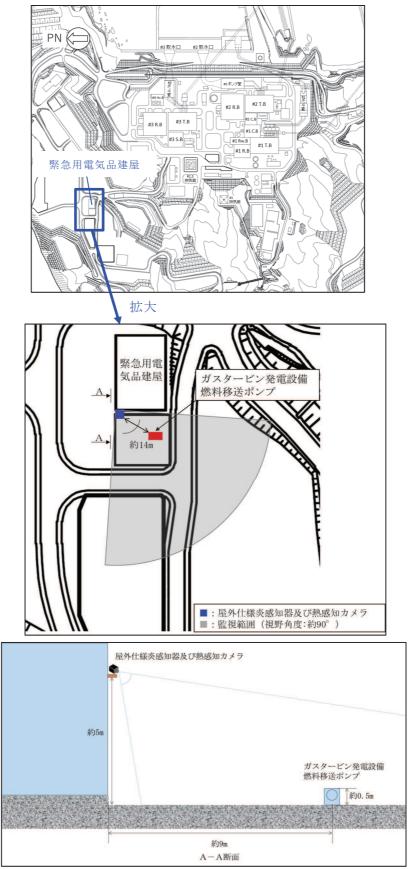
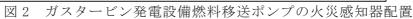


図1 海水ポンプ室の火災感知器配置

補 3-9-別紙 2-3





補 3-9-別紙 2-4

2. 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室

復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室は消防法施行規則を参考に熱感知器及び煙感 知器を設置する。復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室における感知器の設置基準を 表3に,各火災区画の設置個数を表4に示す。また,熱感知器及び煙感知器の配置図を次 頁に示す。

表3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の感知器設置基準

	_	天井高さ			
		4m 未満	4m 以上		
感知面積	熱	150m <sup>2</sup> 以下	75m <sup>2</sup> 以下		
	煙	40m <sup>2</sup> 以下	25m <sup>2</sup> 以下		

部屋番号	部屋番号 名称		天井	高さ	小区画面積	感知 設置	
		区域	4m 未満	4m 以上		熱	煙
復水貯蔵タンク/ Y-7-7 連絡トレンチ/ バルブ室	1	-	0	104.9	6	3	
	連絡トレンチ/	2	0	-	3.5	- *	- *
		3	-	0	8.2	1	1
		(4)	0	-	58.6	2	1
		5	-	0	10.9	1	1
		6	0	-	13	1	1

表4 熱感知器及び煙感知器の設置個数

注記\*: Y-7-7②の感知器(熱,煙)はY-7-7③と兼用とする。

図3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の火災感知器配置